

## 令和6年度第2回那須塩原市環境審議会 次第

日時：令和7(2025)年2月12日(水)

午後2時00分～

場所：本庁舎303会議室及びWEB開催

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

(1) 第2期環境基本計画改定の方向性等について

(2) 環境に関するアンケート結果について

(3) 計画改定業務に係るスケジュールについて

4 その他

5 質疑応答

6 閉会

## 令和6年度第1回那須塩原市環境基本計画市民懇談会（R6.8.1）における委員意見

御意見・御質問	対応方針・回答
<p>1 市民懇談会の任期は計画改定完了までとなっているが、改定後の目標達成状況、施策の進捗管理等については、計画改定が完了した時点で打ち切り、環境基本計画推進委員会（仮称）といった形で、次の改定時期まで引き続き進捗管理等を行うのがよいのではないか。</p>	<p>改定後の5年間のモニタリングについては、現在と同様、毎年開催する環境審議会において計画の進捗や目標達成状況等を報告し、審議いただく予定である。</p> <p>市民懇談会では計画の策定や改定について御意見をいただく場であることから、改定後のモニタリングや効果検証については、引き続き検討しつつ、現時点では環境審議会において実施することとしている。</p>
<p>2 計画期間を延長するのはいかがなものかと思うが。</p>	<p>今回の市民懇談会は計画改定のために設置したところであり、環境施策だけでなく進捗管理等の議論についてもどういった組織の中で実施していくかを検討したいと考えている。</p> <p>計画の方は改定後2年間で終了（延長しない）となると、せっかく新たなビジョンを盛り込んだにもかかわらず、またすぐに見直しになってしまうため、5年間のモニタリング期間をしっかりと設けさせていただいた上で、その間の進捗管理や組織の見直しについては然るべき組織の立ち上げ等も含め、引き続き検討させていただきたい。</p> <p>方向性が見えてきたら改めて市民懇談会でも報告させていただき、御意見をいただければと思う。</p> <p>併せて、国の生物多様性国家戦略や、本市の気候変動対策計画や生物多様性地域戦略など、環境に関する計画終期や目標年度を2030年としているものが多く、それらを併せて見直しができる見込みであることから、それらに合わせる形で2030年を一つの区切りとさせていただきたいと考えている。</p>

## 令和6年度 第1回那須塩原市環境基本計画市民懇談会（R6.8.1）における委員意見

御意見・御質問	対応方針・回答
<p>3 市がどのような計画でまちづくりを進めていくのか、というところから環境政策が始まると思う。環境関係の仕事も「官から民へ」の流れが進んでいるので、市の進むべき方向を示しながら環境の取組を行うべきである。</p> <p>市の基本方針を環境にどう落とし込んでいるかということが分かれば、市民、団体、企業なども進むべき方向が見えてくる。</p> <p>数値目標の達成も重要ではあるが、こういったことが見えるように進められたい。</p>	<p>改定に当たっては、数値目標だけでなく、市が目指す方向性のほか、各団体や企業等との連携というところもしっかり見えるような形にしたいと考えている。その点についても、引き続き御意見をいただければと思う。</p>

## 令和6年度第1回那須塩原市環境審議会（R6.8.21）における委員意見

御意見・御質問	対応方針・回答
<p>1 塩原堆肥センター処理量の減少について、畜産農家によるふん尿の持込量が減少したことが主な要因とのことだが、そもそも有畜農家が減っているのか。</p> <p>もしそうであれば、環境基本計画の改定に当たり、この目標値の見直しを考えているか。</p>	<p>市内の総農場数は374（R5.2月時点）。畜産農家数は現状傾向にあるが、法人（畜産業者）の参入により飼育頭（羽）数は増加している。</p> <p>今般の持込量の減少は、大規模農家からの持込みが減少したことによるもの。</p> <p>現行の目標値は建設当初の最大値（最大処理量）で設定していることから、<b>計画改定に当たっては、実態に則した（現実的な）目標値となるよう見直しを検討したい。</b></p>
<p>2 計画の進捗（達成）状況報告について、基準年を基にした進捗や達成率については増減等を分かりやすく表示されたい。</p>	<p>改定に当たり参考とする。</p>
<p>3 目標を大幅に達成している指標又はほとんど達成されていない指標について、見直しをするのか。</p>	<p>そういった指標については見直しを検討したいと考えている。</p> <p><b>基準年の目標値については関連計画との整合を取っているものもあるため、改定の際は最新の数値に修正する。</b></p>
<p>4 森林面積の減少に対して対策は考えているか。（目標値はこれ以上減らさないようお願いしたい。）</p>	<p>森林減少の主な原因である林地開発については、林地開発許可制度や太陽光条例等に基づく手続が必要であるが、要件を満たせば許可せざるを得ない状況である。</p> <p>市では、市街地周辺の平地林における土地開発に伴う山林減少をはじめとした森林整備の課題について、市森林整備計画に基づき、森林資源の機能維持や保全のための適切な管理や健全で多様な森林資源の維持造成を推進しているところである。</p> <p><b>森林面積の目標値についても、御意見をいただきながら適正な目標値を設定したいと考えている。</b></p>
<p>5 水質調査について、基準達成率を表示するよりも、調査地点、項目、測定結果等を表示した方がよいのではないか。</p>	<p>基準値を超過した観測地点の割合を基準達成率としている。</p> <p>大量のバックデータを会議資料に含めることは難しいが、表示方法については検討したい。</p>

## 令和6年度第1回那須塩原市環境審議会（R6.8.21）における委員意見

御意見・御質問	対応方針・回答
<p>6 市のあるべき姿が、目標値から見えづらい。 改定の際には、例えば「類似自治体との比較や、それに当たり単位数量を揃える」、「（総量だけでなく）1人当たりや1世帯当たりの数を示す」など、解像度の高い目標設定を行うと市民に伝わりやすくなると思う（「こんな高い目標値を設定しているのか」といったことが分かるように）。</p>	<p>改定に当たり参考とする。</p>
<p>7 これまでの計画においては、「数値目標を達成できたか否か」という話になりがちであるが、そうではなく（環境の取組や持続可能な社会づくりに向けた政策など）もっとビジョン的に分かるような作り込みをお願いしたい。</p>	<p>改定に当たり参考とする。</p>
<p>8 計画期間を令和12年度まで延長とのことだが、市の総合計画の改定予定はあるか。 なければ、<b>延長する3か年（R10～R12）については（総合計画がないため）戦略的なものとなるよう提案されたい。</b></p>	<p>総合計画の改定予定はない。計画期間については、環境に関する各種計画の多くが令和12年度末までであることから、それと合わせて見直しが行えるものと考えている。</p>

## 第2期那須塩原市環境基本計画改定の方向性（案）

現行計画の項目						修正の方向性	
第1部	基本構想	第1章	計画の基本的事項	第1節	計画策定の趣旨	P.2	文献やアンケート結果等から抽出される環境課題等を踏まえるとともに、新たな環境方針である「2050 Sustainable Vision 那須塩原」の考えを盛り込んだ内容とする。
				第2節	計画の役割	P.3	
				第3節	計画の位置付け	P.3	整合を図るべき関連計画については、現行の記載のほか、那須塩原市生物多様性地域戦略、那須塩原市気候変動対策計画、第2期那須塩原市一般廃棄物処理基本計画等を追加する。
				第4節	計画における各主体の役割と責務	P.4	現行では、市民、事業者及び市を主体としている。これらの主体同士及び主体相互の連携・協働をより推進していく必要がある点について記載する。
				第5節	計画の構成	P.5	一旦は現行をベースとしつつも、読み進めやすい構成となるよう留意する。
				第6節	計画の対象範囲	P.6	環境基本条例の改正内容と整合を図る。 ※環境基本条例の一部改正については、令和7年3月議会に上程予定。
				第7節	計画の期間	P.6	令和9年度から令和12年度までに延長する。
		第2章	市の姿	第1節	位置、地勢	P.7	
				第2節	気候	P.8	年間平均気温及び年間降水量の経年変化は最新情報にアップデートする。
				第3節	人口、世帯数	P.8	最新情報にアップデートする。
				第4節	産業別就業者数	P.9	最新情報にアップデートする。
				第5節	土地利用状況	P.9	最新情報にアップデートする。
		第3章	市の環境の現状と課題	第1節	第1期環境基本計画における指標ごとの達成状況	P.10	第1期の達成状況は、巻末の資料などで入れた方がよいか。（第2期のものと混同しやすいのではと史料。） ※ただし、現行計画策定時の会議における意見に基づき入れていることに留意。
				第2節	環境の主な現状と課題	P.14	環境を取り巻く現状やアンケート結果等を踏まえ、記載内容を修正する。
		第4章	計画の方向性	第1節	市の将来像	P.31	「人と自然が調和し みんなでつくる持続可能なまち 那須塩原」 →現行のままをほしい。
				第2節	望ましい環境像	P.32	環境を取り巻く現状やアンケート結果等を踏まえ、必要に応じて修正する。（順番も）
				第3節	計画の推進方針	P.34	「2050 Sustainable Vision 那須塩原」を踏まえ、各取組を連携し相乗的に推進するといった、シナジー創出の視点を盛り込む。

## 第2期那須塩原市環境基本計画改定の方向性（案）

現行計画の項目						修正の方向性	
第2部	基本計画	第1章	計画の展開	第1節	主要施策・環境配慮施策	P.37	<p>ここが「第1部 基本構想」とどう繋がっているのかが分かりにくい。「環境項目」、「望ましい環境像」と併せ、必要に応じて「基本施策」を見直す。併せて、指標や目標値も見直す。</p> <p>「第1節のうち重要性・緊急性有するもの」だが、現状の課題に合わせ、重点施策として定めるものを見直す。</p> <p>企業連携（NPアライアンス、CNコンソーシアム等を含む）の視点を盛り込む。</p>
				第2節	重点施策	P.50	
				第3節	計画の推進及び進行管理	P.53	
第3部	環境配慮行動指針	第1章	環境配慮行動指針	第1節	環境配慮行動指針の目的	P.56	<p>現状に合わせて見直す。</p> <p>現状に合わせて見直す。</p> <p>現状に合わせて見直す。</p>
				第2節	市民の行動指針	P.56	
				第3節	事業者の行動指針	P.58	
				第4節	市の行動指針	P.60	
第4部	地域別環境配慮指針	第1章	地域別環境配慮指針	第1節	エリア設定	P.63	<p>エリア分けは現行のままでよいか。</p> <p>現状に合わせて見直す。</p>
				第2節	エリア設定別環境配慮指針	P.64	

第2期環境基本計画における指標項目の達成状況(H29～R5)

…R9目標未達成

環境項目	基本施策	指標	基準値 (H27)	目標値 (R9)	単位	(目指す) 方向性	参考値	実績値						備考	
								H28	H29	H30	R1	R2	R3		R4
1 自然環境の保全	(1)野生動植物の保護	生息地等保全協定区数	15	25	箇所	増加	15	15	15	17	18	18	19	19	
		(2)森林の保全及び林産物の利用促進	森林面積	38,424	38,000	ha	維持	38,403	38,382	38,345	38,188	38,131	38,113	38,074	38,053
	保安林指定面積(民有林)		4,413	4,413	ha	維持	4,415	4,415	4,415	4,415	4,414	4,414	4,414	4,415	
	(3)水辺環境の保全及び利用促進	水辺のレクリエーション施設面積	32.1	32.1	ha	維持	32.1	32.1	32.1	32.1	32.1	32.1	32.1	32.1	
		水辺の環境調査・観察会等	4	8	回/年	増加	4	4	3	2	0	3	3	3	・ホテル観察会 ・水辺教室 ・沼っ原湿原植物観察会
	(4)農地の有効利用による自然環境の保全	農振農用地面積	8,581	8,522	ha	維持	8,576	8,573	8,569	8,550	8,549	8,547	8,541	8,538	
		遊休農地面積	34.6	2.0	ha	減少	30.0	26.2	35.7	25.8	29.4	32.2	29.7	30.1	
塩原堆肥センター処理量		9,890	16,258	t/年	増加	12,799	11,121	14,061	11,611	10,651	10,599	9,879	7,103		
2 生活環境の保全	(1)公害の防止	一般大気環境基準超過日数	0	0	回/年	維持	0	0	0	0	0	0	0	0	
		光化学スモッグ注意報発令数【県北東部】	0	0	回/年	維持	1	0	0	0	0	0	0	0	
		光化学スモッグによる健康被害者数【県北東部】	0	0	人/年	維持	19	0	0	0	0	0	0	0	
		環境基準(BOD)達成数【那珂川4か所】	93.8	100	%	増加	100	100	97.9	100	100	100	94	75	
		環境基準(BOD)達成数【荒川2か所】	91.7	100	%	増加	100	100	100	100	100	100	100	79	
		異常水質発生件数	1	0	件/年	減少	0	0	3	4	2	4	0	1	
		騒音(昼間)に係る環境基準達成率【道路に面する地域、市内7か所】	100	100	%	維持	100	100	100	85.7	85.8	71.4	85.7	85.7	
		騒音(夜間)に係る環境基準達成率【道路に面する地域、市内7か所】	71.4	100	%	増加	66.7	71.4	71.4	71.4	71.5	71.5	71.5	71.5	
	下水道の効果測定14か所の環境基準(BOD)達成率	100	100	%	維持		100	87.5	96	89	86	88	89		
	(2)放射能対策	指標なし													
(3)安全・安心な市民生活の実現	苦情件数【都市型・生活型公害】	72	70	件/年	減少	67	127	67	76	120	69	49	15		
	苦情件数【産業型公害】	22	20	件/年	減少	31	22	13	16	14	12	16	7		
	新規産廃施設設置件数※施設の拡張含む	2	0	件/年	減少	0	2	0	0	0	0	1	0		
3 快適環境の保全	(1)安全・安心な生活基盤・都市基盤の整備	用途地域内人口割合	47.20	48.50	%	増加	47.23	45.87	45.86	45.88	45.89	45.71	45.94	45.94	
		都市公園面積	105	105	ha	維持	105	105	106	106	106	106	106	106	
		道路改良率	78.30	82.00	%	増加	78.40	78.86	79.43	79.75	80.38	79.10	79.20	79.40	
		上・中塩原温泉事業給湯件数	181	181	件	維持	173	167	165	156	157	156	153	154	
		地域バスの利用者数	148,248	270,000	人	増加	148,776	152,649	159,313	175,273	124,358	131,162	145,469	169,548	
		公共下水道の普及率	54.80	65.00	%	増加	55.10	55.20	55.40	55.80	56.69	57.31	57.95	58.95	
		合併処理浄化槽の普及率	16.90	21.00	%	増加	17.40	17.90	18.30	18.54	18.97	19.52	19.98	20.53	
	(2)景観の保全	景観計画区域内における建築行為等届出適合率	100	100	%	維持	100	100	100	100	100	100	100	100	

第2期環境基本計画における指標項目の達成状況(H29～R5)

…R9目標未達成

環境項目	基本施策	指標	基準値 (H27)	目標値 (R9)	単位	(目指す) 方向性	参考値	実績値						備考	
								H28	H29	H30	R1	R2	R3		R4
4 地球環境の保全	(1)地球環境保全の推進	市域から排出される温室効果ガス総排出量 ※基準年度: H25	1,062	906	千t-CO <sub>2</sub>	減少		955 ※平成27年度	926 ※平成28年度	901 ※平成29年度	784 ※平成30年度	908 ※令和元年度	899 ※令和2年度	937 ※令和3年度	R3、R4は気候変動 対策計画に基づく 算定方法
		市が行う業務により排出される温室効果ガス排出量 ※基準年度: H25	7,579	5,305	t-CO <sub>2</sub>	減少	6,465	6,296	6,232	5,663	4,685	5,684	27,505	23,799	
		環境マネジメントシステム構築事業所数	55	80	事業所	増加	59	67	64	67	67	66	69	71	
	(2)再生可能エネルギー の利用促進	市域における再生可能エネルギー発電容量	110,894	128,080	kW	増加	169,460	172,982	183,934	190,229	209,809	213,079	217,190	360,937	FIT法改正以前に 認定されたもの については、移行認 定済みのものを集 計
		太陽光発電設備を設置した市の施設数	12	15	施設	増加	12	12	12	13	14	14	15	19	
	(3)省エネルギーの推進	長期優良住宅申請件数	702	1,500	件	増加	816	892	973	1,028	1,129	1,231	1,342	143	R2年度分から取 止届を除いた件数 を入力。 ※基準値(H27)、 参考値(H30)も取 止届を除いた数値 に修正)
		家庭向け省エネ診断の受診世帯数	17	50	世帯	増加	21	22	22	23	24	24	24	21	
5 循環型社会の構築	(1)廃棄物の発生抑制と 適正処理	生活系廃棄物の排出量 ※資源物を除く。	22,847	22,245	t/年	減少	27,691	27,464	23,091	22,828	23,844	23,367	23,061	22,245	
		事業系廃棄物の排出量 ※資源物を除く。	15,416	13,891	t/年	減少	15,535	15,519	14,684	14,154	12,785	12,859	14,013	12,563	
		一般廃棄物の最終処分量	4,546	4,464	t/年	減少		4,420	4,123	4,055	4,119	5,265	4,880	4,464	
		不法投棄などに関する苦情・相談処理件数	223	170	件/年	減少	219	218	116	135	119	130	184	138	
6 環境保全活動と環境 学習の推進	(1)環境保全活動と環境 学習の推進	那須塩原クリーンセンター施設見学会	17	21	回/年	増加		18	23	21	8	17	22	26	
		環境企画展等イベントへの参加者数	1,465	2,500	人/年	増加	1,454	2,754	2,833	2,497	0	0	335	376	消費生活と環境展 における「みるる」 来場者
		こどもエコクラブ会員団体数	4	15	団体	増加	2	2	3	3	2	1	1	1	
7 広域連携の推進	(1)広域的な取組の推進	指標なし													

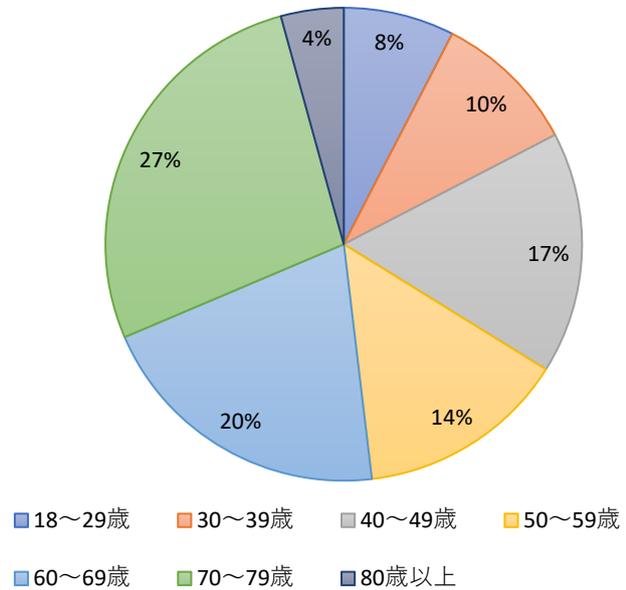
■市民アンケート結果

調査対象及び調査数	満 18 歳以上の市民から無作為に抽出した 2,000 人
調査方法	アンケート調査用紙の郵送
調査期間	令和 6 年 12 月 19 日～令和 7 年 1 月 8 日
回答数及び回収率	611 人（うちインターネットによる回答 198 人） 回収率 30.6%

質問 1

(1) 年齢

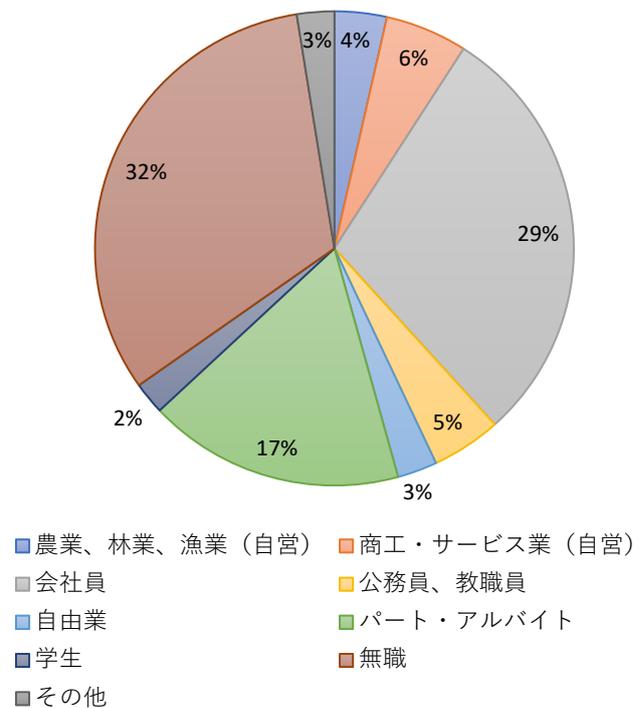
項目	回答数
18～29 歳	46
30～39 歳	60
40～49 歳	101
50～59 歳	87
60～69 歳	125
70～79 歳	166
80 歳以上	26



・ 60 歳以上による回答が、半数以上を占めている  
 ・ 9 年前の結果と比べ、60 歳以上の割合が高くなっている。

(2) 職業

項目	回答数
農業、林業、漁業（自営）	21
商工・サービス業（自営）	33
会社員	174
公務員、教職員	28
自由業	16
パート・アルバイト	103
学生	13
無職	192
その他	15

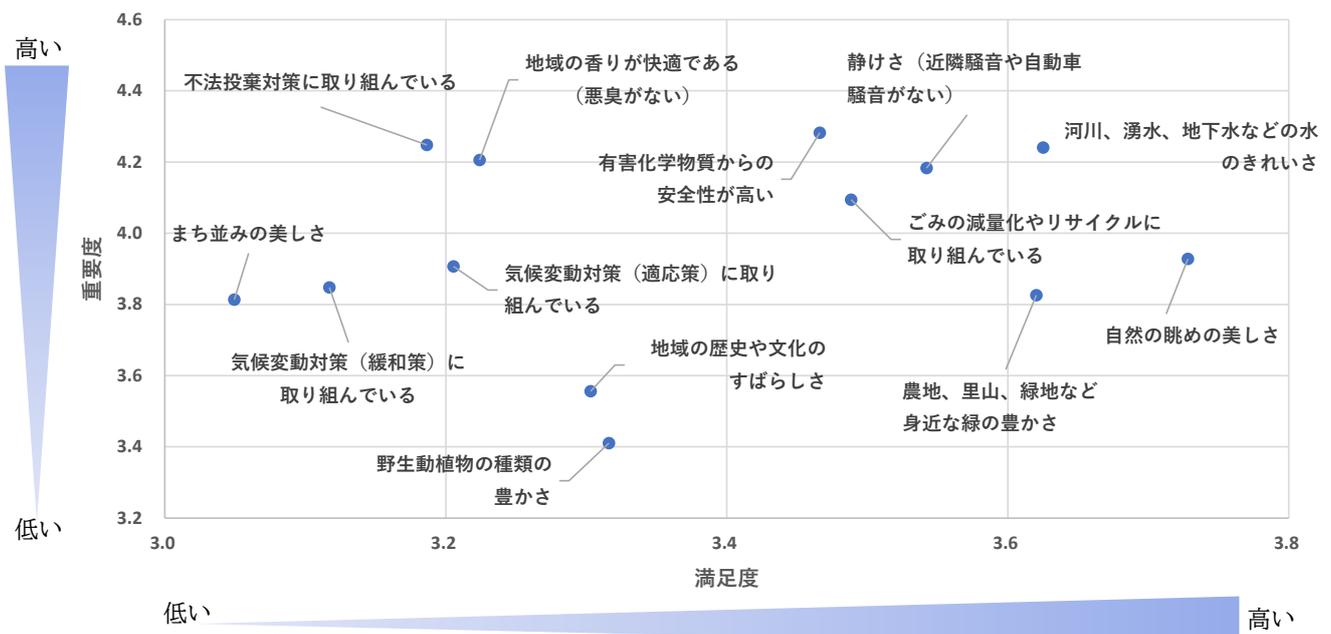


・ 無職の割合が高く、次いで会社員、パート・アルバイトの順となっている。  
 ・ 9 年前の結果と比べ、無職及び会社員の割合が高くなっている。

質問2

あなたがお住まいの地域の環境について、どのように感じていますか。

項目	満足度	重要度
自然の眺めの美しさ	3.73	3.93
農地、里山、緑地など身近な緑の豊かさ	3.62	3.83
野生動植物の種類の豊かさ	3.32	3.41
地域の歴史や文化のすばらしさ	3.30	3.56
まち並みの美しさ	3.05	3.81
河川、湧水、地下水などの水のきれいさ	3.63	4.24
静けさ（近隣騒音や自動車騒音がない）	3.54	4.18
地域の香りが快適である（悪臭がない）	3.22	4.21
有害化学物質からの安全性が高い	3.47	4.28
ごみの減量化やリサイクルに取り組んでいる	3.49	4.09
不法投棄対策に取り組んでいる	3.19	4.25
気候変動対策（適応策）に取り組んでいる	3.21	3.91
気候変動対策（緩和策）に取り組んでいる	3.12	3.85

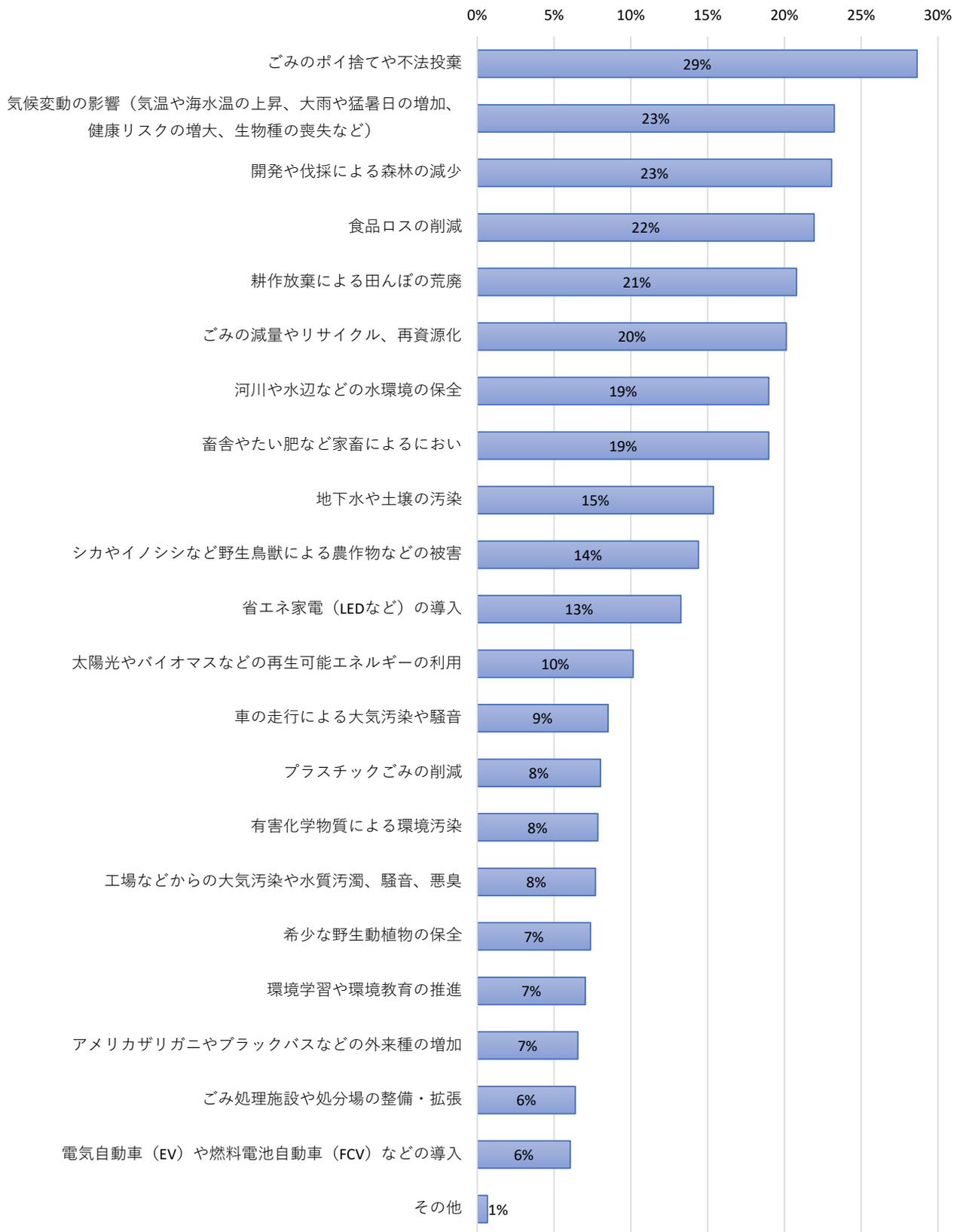


・「不法投棄対策に取り組んでいる」や「地域の香りが快適である（悪臭がない）」は比較的、重要度が高いが、満足度は低い結果となっている。  
 ・満足度は、「自然の眺めの美しさ」は高いが「まち並みの美しさ」は低い結果となっている。

### 質問3

環境についてあなたが関心のあるものを3つ選んでください。

項目	回答数	割合
ごみのポイ捨てや不法投棄	175	29%
気候変動の影響（気温や海水温の上昇、大雨や猛暑日の増加、健康リスクの増大、生物種の喪失など）	142	23%
開発や伐採による森林の減少	141	23%
食品ロスの削減	134	22%
耕作放棄による田んぼの荒廃	127	21%
ごみの減量やリサイクル、再資源化	123	20%
河川や水辺などの水環境の保全	116	19%
畜舎やたい肥など家畜によるにおい	116	19%
地下水や土壌の汚染	94	15%
シカやイノシシなど野生鳥獣による農作物などの被害	88	14%
省エネ家電（LEDなど）の導入	81	13%
太陽光やバイオマスなどの再生可能エネルギーの利用	62	10%
車の走行による大気汚染や騒音	52	9%
プラスチックごみの削減	49	8%
有害化学物質による環境汚染	48	8%
工場などからの大気汚染や水質汚濁、騒音、悪臭	47	8%
希少な野生動植物の保全	45	7%
環境学習や環境教育の推進	43	7%
アメリカザリガニやブラックバスなどの外来種の増加	40	7%
ごみ処理施設や処分場の整備・拡張	39	6%
電気自動車（EV）や燃料電池自動車（FCV）などの導入	37	6%
その他	4	1%

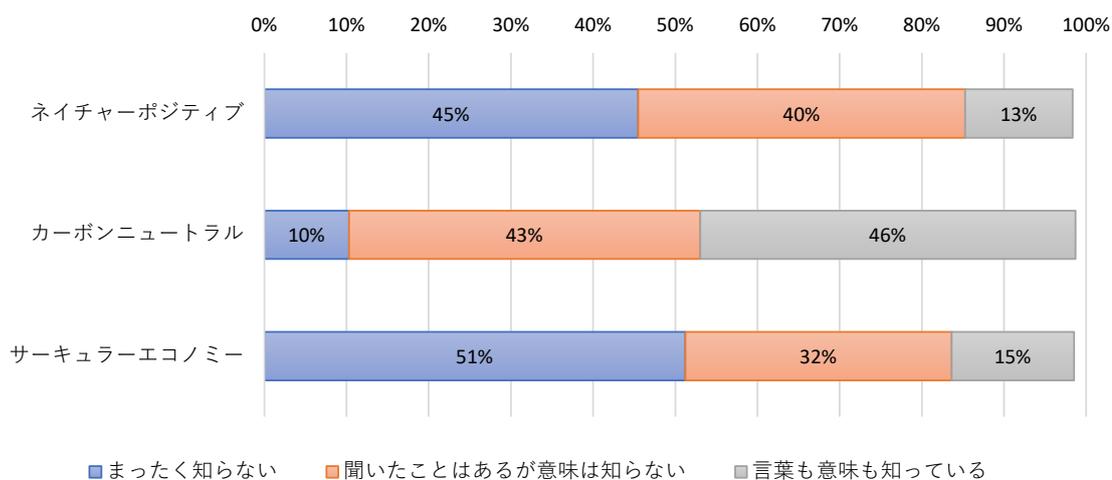


・「ごみのポイ捨て」への関心が高く、次いで「気候変動の影響（気温や海水温の上昇、大雨や猛暑日の増加、健康リスクの増大、生物種の喪失など）」となっている。9年前も同様にポイ捨てへの関心が高かった。

・「アメリカザリガニやブラックバスなどの外来種の増加」や「ごみ処理施設や処分場の整備・拡張」、「電気自動車（EV）や燃料電池自動車（FCV）などの導入」への関心は低い結果となっている。

#### 質問4

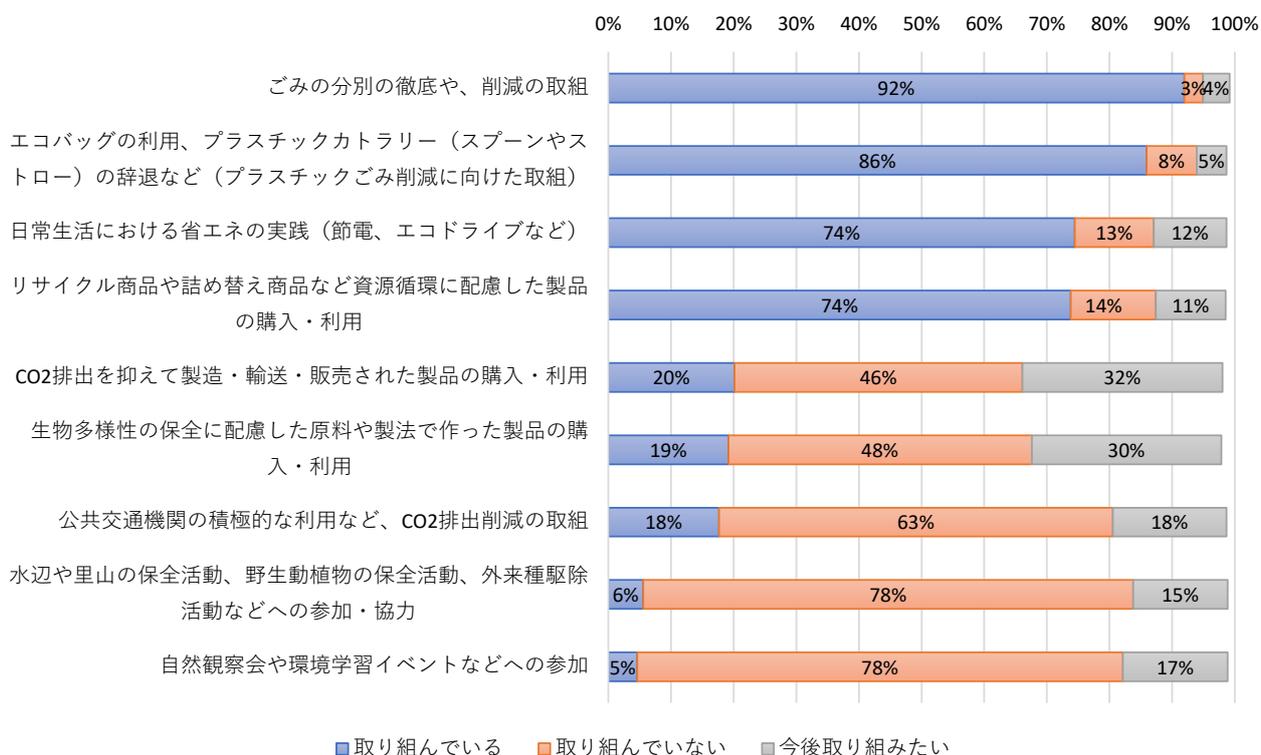
言葉の意味を知っていますか。



・「カーボンニュートラル」の認知度は高いが、その他は低い結果となっている。

#### 質問5

あなたは、日常生活で環境に配慮した取組を行っていますか。

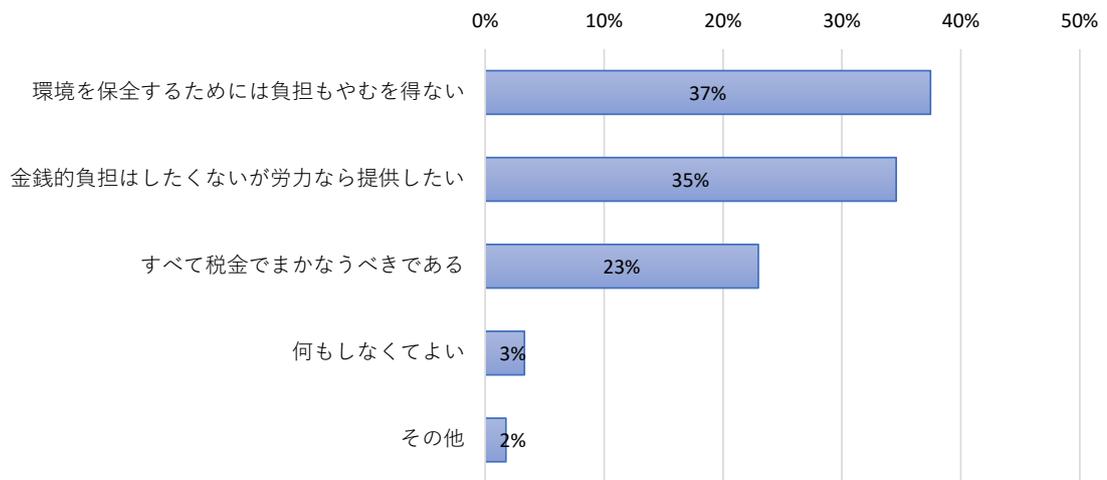


・「ごみの分別の徹底や、削減の取組」や「エコバッグの利用、プラスチックカトラリー（スプーンやストロー）の辞退など（プラスチックごみ削減に向けた取組）」を行う人の割合が比較的高い結果となっている。これらは9年前も同様に高い結果であった。

質問6

あなたは、那須塩原市の環境を守るために、市民が金銭的負担や労力の提供をすることについて、どのようにお考えですか。

項目	回答数	割合
環境を保全するためには負担もやむを得ない	221	37%
金銭的負担はしたくないが労力なら提供したい	207	35%
すべて税金でまかなうべきである	128	23%
何もしなくてよい	20	3%
その他	35	2%

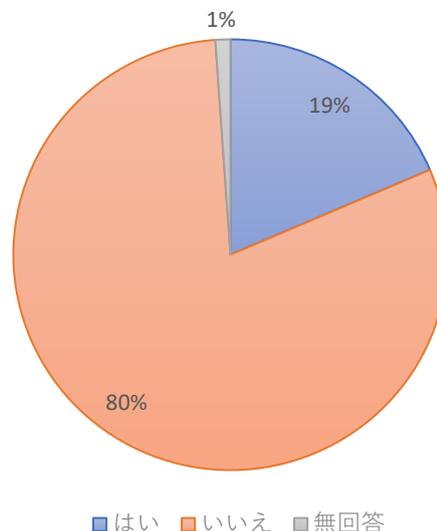


- ・「環境を保全するためには負担もやむを得ない」や「金銭的負担はしたくないが労力なら提供したい」と考える人の割合が高い結果となっている。
- ・9年前の結果と同様な傾向となっているが、「すべて税金でまかなうべきである」と考える人の割合が増加している。

質問7

あなたは、地球環境問題、気候変動、自然環境、水質・大気汚染、景観、リサイクル、ごみ問題など、環境に関連する講演会、学習会、シンポジウムなどに参加したことがありますか。

項目	回答数
はい	120
いいえ	484

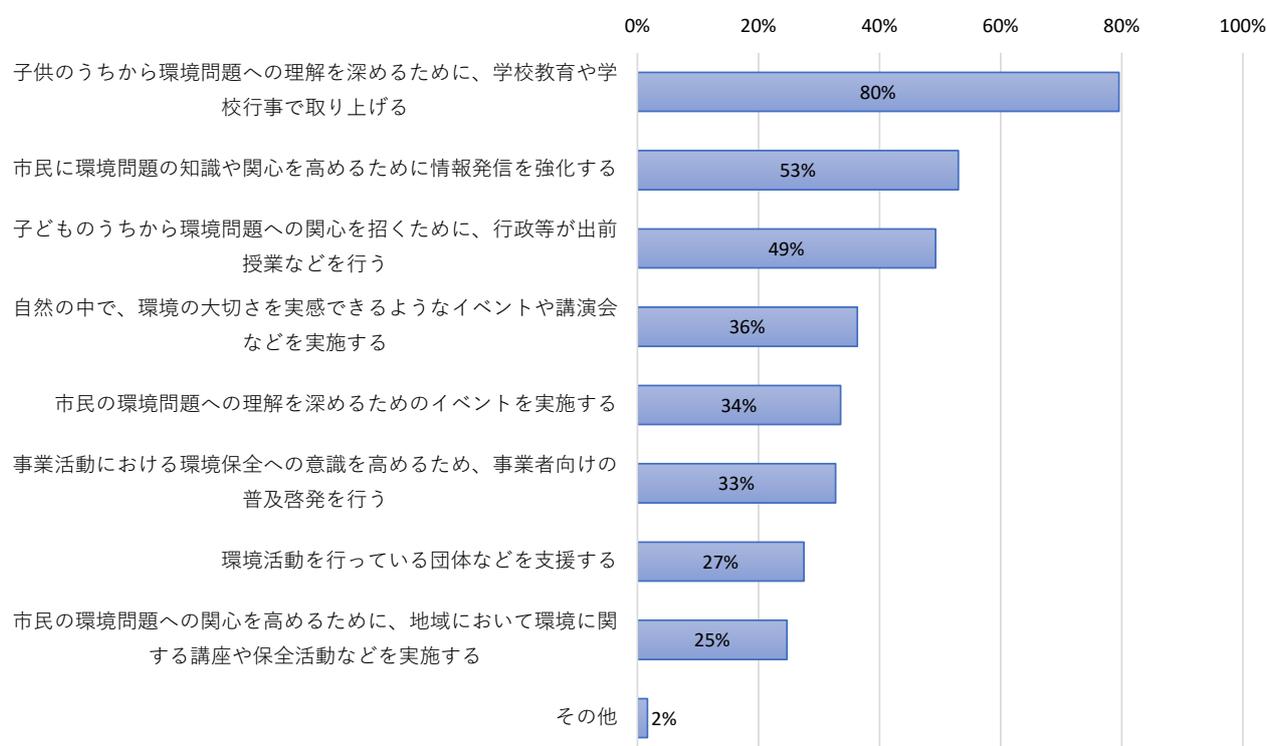


- ・9年前の同様な結果だが、「はい」と答えた人の割合が僅かに低下している。

質問 8

あなたは、環境教育や環境学習について、どのように進めていけば良いと思いますか。(必要と思うものすべて選択)

項目	回答数	割合
子供のうちから環境問題への理解を深めるために、学校教育や学校行事で取り上げる	486	80%
市民に環境問題の知識や関心を高めるために情報発信を強化する	324	53%
子どものうちから環境問題への関心を招くために、行政等が出前授業などを行う	301	49%
自然の中で、環境の大切さを実感できるようなイベントや講演会などを実施する	222	36%
市民の環境問題への理解を深めるためのイベントを実施する	205	34%
事業活動における環境保全への意識を高めるため、事業者向けの普及啓発を行う	200	33%
環境活動を行っている団体などを支援する	168	27%
市民の環境問題への関心を高めるために、地域において環境に関する講座や保全活動などを実施する	151	25%
その他	10	2%



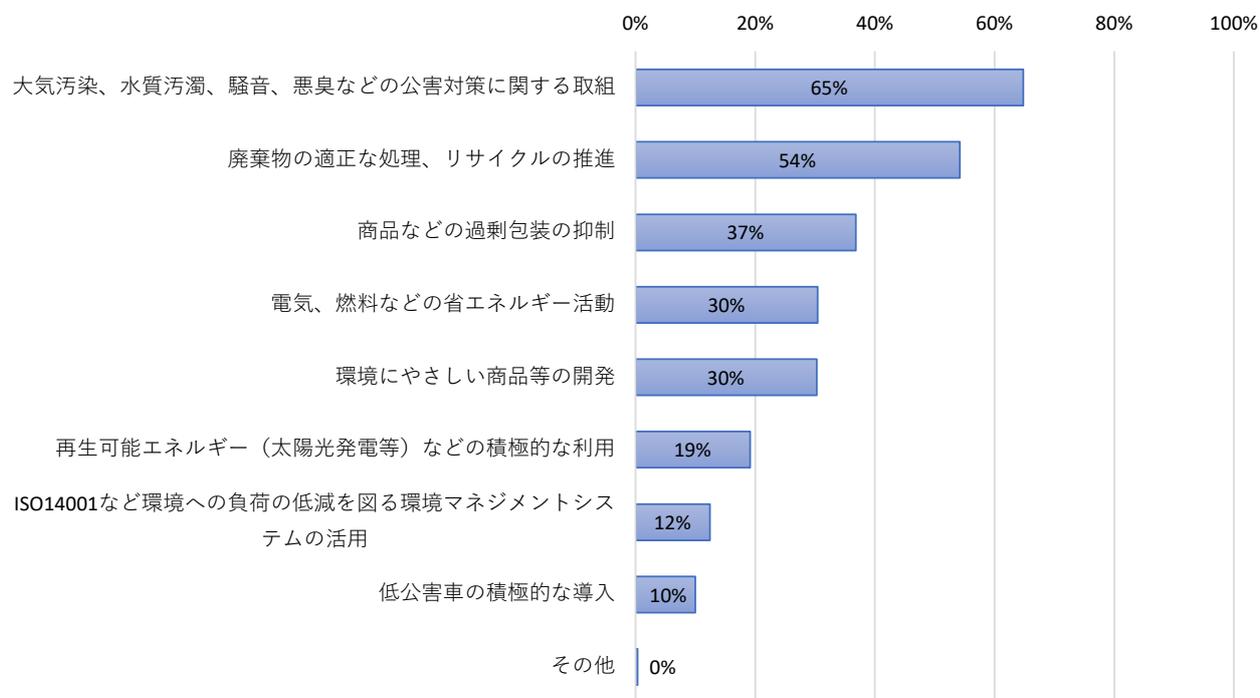
・「子供のうちから環境問題への理解を深めるために、学校教育や学校行事で取り上げる」の割合が高く、次いで「市民に環境問題の知識や関心を高めるために情報発信を強化する」となっている。

・9年前と同様な傾向がみられるが、「自然の中で、環境の大切さを実感できるようなイベントや講演会などを実施する」と答えた人の割合は低下が著しい。

質問9

事業による経済活動が行われる中でも良好な生活環境を維持するために、あなたが企業や事業所に期待することは何ですか。（3つ以内で選択）

項目	回答数	割合
大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭などの公害対策に関する取組	396	65%
廃棄物の適正な処理、リサイクルの推進	331	54%
商品などの過剰包装の抑制	225	37%
電気、燃料などの省エネルギー活動	186	30%
環境にやさしい商品等の開発	185	30%
再生可能エネルギー（太陽光発電等）などの積極的な利用	117	19%
ISO14001など環境への負荷の低減を図る環境マネジメントシステムの活用	76	12%
低公害車の積極的な導入	61	10%
その他	2	0%

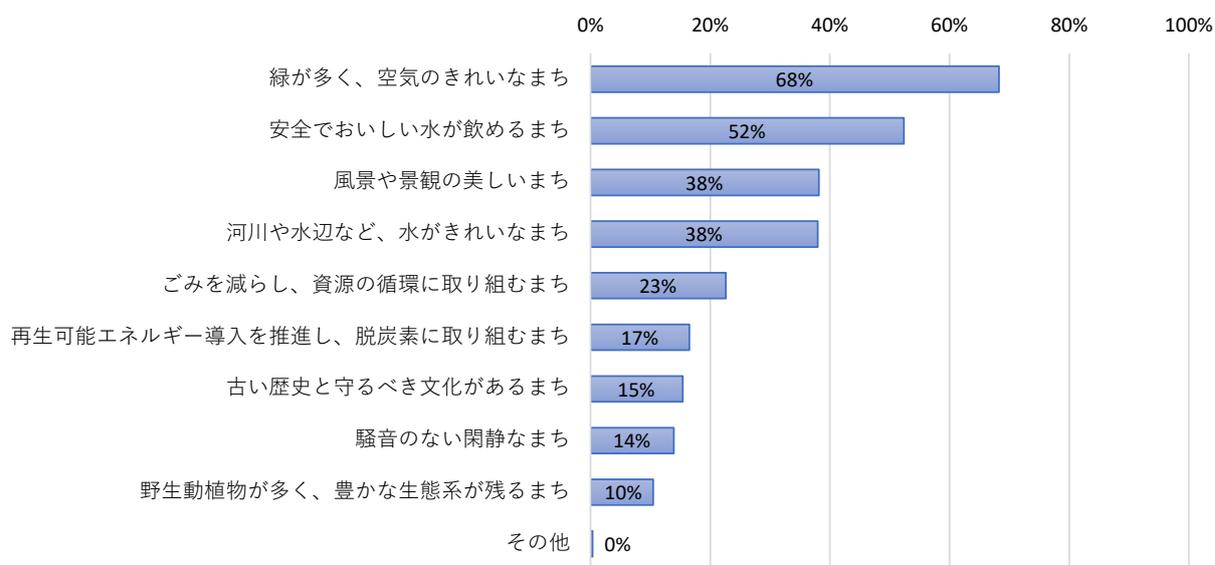


- ・「大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭などの公害対策に関する取組」の割合が高く、次いで「廃棄物の適正な処理、リサイクルの推進」となっている。
- ・9年前は「廃棄物の適正な処理、リサイクルの推進」と答えた人が1番多く、次いで「大気、水質、騒音などの公害対策に関する取組」であった。

質問10

あなたは那須塩原市の環境について、その理想の将来像をどのようにお考えですか。(3つ以内で選択)

項目	回答数	割合
緑が多く、空気のきれいなまち	417	68%
安全でおいしい水が飲めるまち	320	52%
風景や景観の美しいまち	233	38%
河川や水辺など、水がきれいなまち	232	38%
ごみを減らし、資源の循環に取り組むまち	138	23%
再生可能エネルギー導入を推進し、脱炭素に取り組むまち	101	17%
古い歴史と守るべき文化があるまち	94	15%
騒音のない閑静なまち	85	14%
野生動植物が多く、豊かな生態系が残るまち	64	10%
その他	2	0%

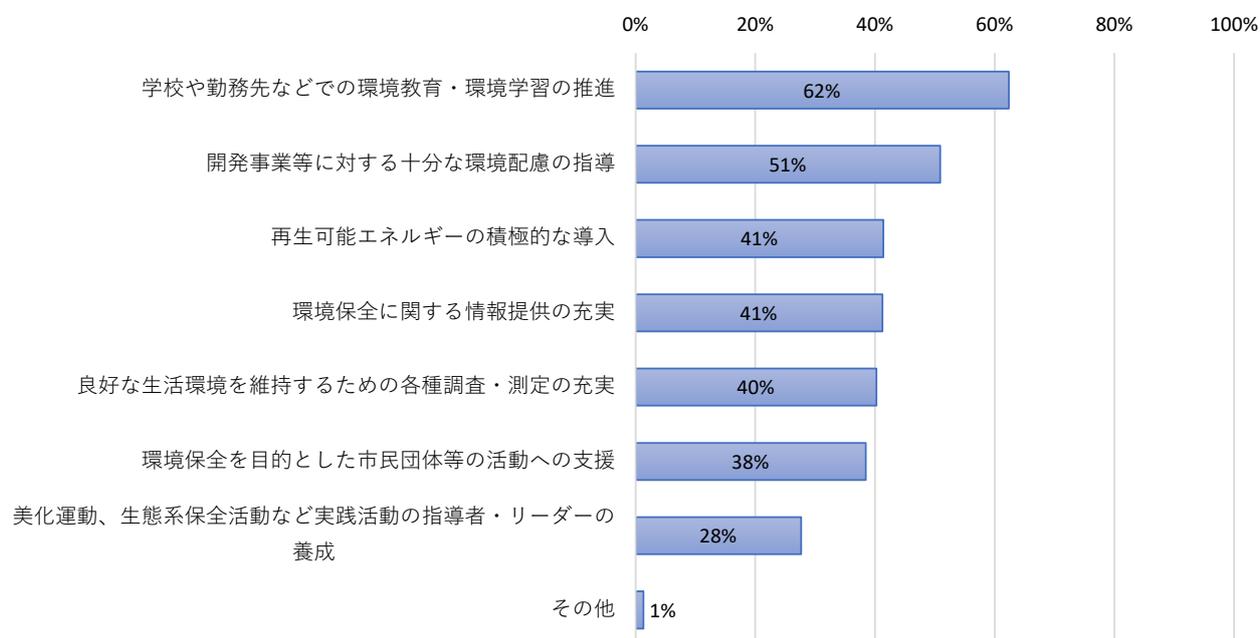


- ・「緑が多く、空気のきれいなまち」の割合が高く、次いで「安全でおいしい水が飲めるまち」となっている。
- ・9年前は「おいしい水が飲めるまち」と答えた人が1番多く、次いで「空気の澄んだまち」であった。

質問 1 1

これからも良好な環境を維持していくために、あなたが那須塩原市（行政）に望むことはどのようなことですか。（該当するものすべてを選択）

項目	回答数	割合
学校や勤務先などでの環境教育・環境学習の推進	381	62%
開発事業等に対する十分な環境配慮の指導	312	51%
再生可能エネルギーの積極的な導入	254	41%
環境保全に関する情報提供の充実	252	41%
良好な生活環境を維持するための各種調査・測定の充実	247	40%
環境保全を目的とした市民団体等の活動への支援	235	38%
美化運動、生態系保全活動など実践活動の指導者・リーダーの養成	169	28%
その他	8	1%



- ・「学校や勤務先などでの環境教育・環境学習の推進」の割合が高く、次いで「開発事業等に対する十分な環境配慮の指導」となっている。
- ・9年前も「学校や勤務先などでの環境教育・環境学習の推進」と答えた人が1番多かった。

【市民】

番号	分類	市への要望や計画に対する意見
1	自然環境	ソーラー発電のため、わざわざ森林、林の伐採には、大反対
2	自然環境	市民の美化運動と同じようにオオキンケイギクの駆除活動の日を作ってほしい。なお、花が咲く前(春先)に駆除した方が分量が少なく済みます。
3	自然環境	夫のリタイアに合わせて、3年前に那須塩原市に移住してきました。思っていた以上に自然が素晴らしく、居心地の良い町です。この貴重な財産(自然)を守りつつ、またそれを活かして、那須塩原市が発展していく事を望んでおります。
4	自然環境	今回、メガソーラーや開発事業者について書き連ねてきたが、最近キャンプ場やRVパークと云ったレジャー施設の建設に伴う森林破壊が目立ってきた。こちらの方についても、メガソーラー同様、規制が一切されていない。客たちは那須塩原市以外から来ているので、市の条例を一切知らない。先だっては、森の中で何度も直火でキャンプファイヤーおよび焚火をしていた。警察に何度も通報しているが、毎回来る客は別の人間なので、その都度説明が必要である。レジャー施設の運営者たちは県外の人間であるため、まともに取り合わない上に改善も一切しない。なお、メガソーラーの件に関して追記すると、ヘクタール単位で森林を伐採して黒い太陽パネルを大量に設置した事で、昨年の夏はメガソーラー付近の気温は50℃以上まで上昇した。当然、メガソーラー設置前の森林の状態であれば最高でも30℃には達しなかった。メガソーラー付近に居住する事を余儀なくされた市民に対しては、熱中症対策として使用した冷房費を設置業者に負担させるべきである。もしくは、メガソーラーの早急なる完全撤去及び破壊した森林の再生を求める。メガソーラーが自然環境および居住環境に及ぼす悪影響は計り知れない。近い将来、メガソーラー建設の全面禁止を那須塩原市が行う事を期待している。
5	自然環境	那須塩原には森(林)が多いので、これが失われないようにして頂きたいです。私は関西の生まれですが、山ではなく平地に木々があるのはこの地方の特有のものだと思います。田んぼや集合住宅地も元は森だったのかな?と感じる場所もあるので、これ以上減らさない工夫をして頂きたいです。
6	自然環境	山の斜面や雑木林、耕作放棄された土地を太陽光発電のために潰したエリアが散見されるが、それが未来のために本当に必要な行為なのか問いただす機会を与えてやって欲しい。
7	自然環境	最近、外来動植物の多さに気付くようになったが、このまま外来種の放置が続くとほとんどの植物が外来種に置き変わってしまうのではないかと危惧している。植物と関係する昆虫が減ったり、絶滅したりする現象が増え、そのことに関する自然のサイクルが崩れかけているのではないかと思われる。もっと外来動植物の排除を考えるPRしてほしいと思う。
8	自然環境	自然が豊かですが、人家の近くに熊が出たり猿が出るのが不安です。
9	自然環境	山を切り拓いてまで太陽光パネルを置く意味がわからない。
10	自然環境	里山がなくなり、住宅地が多くなりつつ有り緑の豊かさが減少傾向で残念に思っている。
11	自然環境	私の自宅は分譲地が多くキツネが●子の狩りしているのを見かけたり、タヌキも見た事があります(最近)自宅庭にシジュウカラの巣箱を設置したところ、穴が大き過ぎたのかムササビが入ったり出たりしています。緑が多く散歩など最高でしたが数年前から近くの畜舎に数等の野良犬が、住み付き思うように出来なくなってしまいました。群がっている犬達は怖いですよね。
12	自然環境	山林の倒木が目立ち荒れている状態です。枯れ葉なども、山住で環境が損なわれています。
13	自然環境	那須塩原市は農業地域ですが、田や畑を耕作する後継が少なくなり田や畑が荒れているところが散見されます。従い、里山までイノシシやシカ、クマがきていますので、田や畑を荒らさないように、農業専門業者に委託して対応する組織作りを、お願いしてほしいと思っています。
14	自然環境	生活環境まで脅かす野生動物等の対策等にも取り組んでほしいと思います!大変だとは思っていますが現実に困っていますのでよろしくお願ひしたいと思います。
15	自然環境	野生動物の害獣駆除を強化してほしい。市街地への野生動物の侵入が増え、農作物や民地内の庭を荒らしているため。道路脇の土砂などの撤去、整備を徹底してほしい。
16	自然環境	雑木林を伐採して太陽光パネルを設置するのは野生動植物の保全を目指すという目標と矛盾しているのではないかと思う。東那須野公園から見える景色が太陽光パネルというのも残念だ。
17	自然環境	最近、太陽光パネルのみがずらっと並んでいるのを見ると違和感を感じます。見える所には設置しない方が自然豊かさがきわ立ち、キレイに見える。
18	自然環境	再生可能エネルギーに導入による森林ほ破壊と太陽光パネルの寿命と再生について今から取り組む必要がある
19	自然環境 快適環境	〇〇跡地に広大な太陽光発電などを許可して環境破壊しているような気がする

【市民】

番号	分類	市への要望や計画に対する意見
20	自然環境 快適環境	太陽光パネルの設置エリアが増え過ぎないように規制して欲しい。
21	自然環境 快適環境	市内にメガソーラーが増えすぎている気がします。自然を減らしてまで作っても、景観も悪すぎますし、そんなに環境に良いのか疑問です。特に〇〇工場跡地は本当にガッカリしました。
22	自然環境 快適環境	自然の豊かさと活気のある美しい街並みが調和することが、魅力ある街作りに必要だと思います
23	自然環境 快適環境	自然が豊かな所、発展していく所をうまくすみわけできると住んでいて快適な生活が送れるのかなと思います。年をとっていくので、自分の生活圏は便利であって欲しいと思いますが、環境に配慮されているとなお良いのかなと思います。
24	自然環境 快適環境	公園、ポッポ通り、街路樹等、伐採が多数見受けられる。大木になり伐採も必要だが、次世代の植樹も必要と考える。木の種類、植える場所、配置等を考慮し、緑地化をデザインして頂きたい。
25	自然環境 快適環境 地球環境	・住宅地の雑木森林の整備・自動車の燃費を悪化させる信号制御の改善・公園を増やし、また既存の公園の整備・行政施設や外灯のLED化の推進・車を減らす為の公共交通の増強→自転車走行帯の整備
26	自然環境 循環型社会	緑が多く自然がたくさんある那須塩原市がとても好きですが、ゴミの不法投棄などが多くせつかくの景観が損なわれている気がします。ゴミの不法投棄を抑制する取り組みをお願いをしたいと思います。
27	自然環境 生活環境	那須塩原市は自然豊かで水が美味しいため東京から移住しましたが、現在は太陽光パネルが広大な土地であったり、住宅地の中にどんどん設置され自然の破壊とそれによる自然災害、さらにパネルの破損による有害物質の流出、そして水質汚染へとつながっていく可能性がかなり高いです。現在住んでいる地域ではパネル設置に対する反対運動や市へ申し出をしましたがかないませんでした。長い年月を考えて場所や広さなど考えて欲しいものです。このままではネイチャーポジティブの実現は無理だと思います。
28	生活環境	水資源を大切にしたい。風に対する対策をお願いします。
29	生活環境	畜舎や堆肥など家畜の匂いに早急に対策してほしい。糞尿が匂わない餌の開発など。畜舎の近くの住人は、苦しんでいます。洗濯物を外に干せません。太陽が燦々と降り注ぐ家の外に洗濯物、布団を干せる日が早く来ることを切望します。空気がきれいな環境になれば、観光客も増えると思います。
30	生活環境	歩いていると、ドブ臭さで息を止めて通り過ぎたいところがある。一般住宅ではなく、大きな建造物、マンション、飲食店の前など。風が強いと、ご近所のそういった所の空気が排水溝からのぼってきてしまうようで、台所のシンクや洗面所が臭くなり、体に悪そうで不安になる。夏、夜になると毎日、たい肥臭さが流れてくる(近くに牛舎などはないが)ため、窓は開けておられず、これから温暖化が進むと、エアコンの電気代や家畜の健康なども気になるところではあるが……まずは、ドブ臭さをどうにか改善できないものかなあと思っている。また、たまに雨が降った際など、水道水が消毒臭かったり、墨汁の臭いがするときがあり、一時的なので大きな問題はないが、なぜなのか少し気になる。
31	生活環境	近くの養豚場の環境が良くない。(悪臭、下足で養豚場に入ったりしている等)夏場は窓をあけられないし、洗濯物も干せない。豚コレラで停止後、再開する時に何の説明もない。見周りをしっかりしてほしい。学校や企業などで植樹したり、環境について学ぶ機会がもっと充実してほしい。
32	生活環境	水にやさしい洗剤を使う
33	生活環境	那珂川上流部の水量と水質、水草の調査分析と対策を講じて、きれいな那珂川を取り戻してください。那須疎水でもうすこし水量を落として本流に流しては？夏場の青ノ口は酷過ぎです。
34	生活環境	高林地区の大木な道路(皇族が御用邸へ行く際使う道路)沿いで廃棄物をトラックで運び入れ埋め立てている場所があります。入り口には大きな門と警備員がいるので許可されてはいると思いますが非常に気味の悪い場所です。現在全国の水道水から体内蓄積型の化学物質が検出されていますが、廃棄物処理場に降った雨水が川に集まって浄水場へも流れ込むわけですから、許可された処理場であっても市が責任を持って周辺の土壌汚染状況を常に監視し続け、必要があれば利用を止めさせ都度対策を打つべきだと思います。
35	生活環境	太陽光、蓄電池の補助が遅い。早く使用しても後から補助金が出ると思い設備投資が遅くなる。〇〇のにおいが気になります。夜は特にくさいです。返信封筒が小さい。
36	生活環境	市内の下水道を整備してほしい。
37	生活環境	時々どこからともなく悪臭がする事があります。豚、牛、鳥、鶏、等など何か良い方法はないものかと感じる事が多々あります！処理方法を考えて頂けたら幸いです。
38	生活環境	家畜による悪臭(食事時間対に臭)環境設備への補助金の支援 公報には有るが、切られて利用出来ない事がある

【市民】

番号	分類	市への要望や計画に対する意見
39	生活環境	近隣のゴム工場から定規的（時間帯）に悪臭が漂ってきたり、夜間工場の廃煙（暗くなると可視化できる）等日常生活身体に影響が出るのは、と不安になることがあります。又、酪農家が汚水を流す夕方に耐え難い臭いにもどうにか対策がないものかと常に感じています。目には映らない環境への配慮をお願いしたいです。
40	生活環境 地球環境	7ページにも書きましたが那須塩原市というか県全体に言える事ですが、公共交通機関が充実していないのでどうしても車を利用してしまいます。自転車専用の道路があれば自転車も利用できますが、運転の荒い人が多いので怖いです。バスなど充実させるのには難しいとは思いますが。最近ではキャンプ等が流行っていますが、そのせいで川が汚れたりゴミをすてたり、ルールを守らない人が多いと思います。ちゃんと管理できればと思いますが、一度汚れてしまうと中々元に戻らないと皆さん自覚できればと思いますが10年度、20年後、が心配です
41	快適環境	太陽光などを取り入れることは良いですが、景観をくずすようなことはしないでほしいです。（那須塩原駅前にある太陽光は良い立地なのに景観も崩れるし駅前ならもっと使い道があったとも思います。最悪です。）
42	快適環境	那須塩原市には ぼっぼ通り*があり、西那須野から約3kmに渡りぼっぼ通りを花で埋めつくそう花の会のボランティアで花植えに参加しています。四季を通じ色とりどりの花が通りを飾り、散歩される方からもキレイねと言葉をいただいています。不便を感じているのは、公衆トイレが1ヶ所しかも和式トイレなので障害者も利用できる多目的トイレの設置そして花植え後の水やりをするための水源、取水場所が必要だと思っています。災害避難所としても利用できるような水道とトイレが設置されていれば市民にとっても安心できると思います。隣接には乃木神社があり初詣で参拝者も多く、春には乃木参道の桜並木も見事です。那須野が原開拓は日本遺産にも認定され、明治の歴史、ロマンを感じます。那須疎水により水源豊富で緑で囲まれた自然豊かな那須塩原市がより住みやすい環境になってほしいと望みます。*ぼっぼ通り 1918年～1968年西那須野から開通した東野鉄道の軌道跡を歩行者と自転車の専用道路に整備したものです。
43	快適環境	県道・国道沿いの歩行者通路の雑草が初夏～秋にかけて伸び景観がそこなわれ、特に学校周辺の通路は見通しも悪くなり、危険も伴う為定期的な除草をシルバーセンター等活用して実施して貰いたい。
44	快適環境	田畑の荒れが目立つ、農業者の育成を市が取り組んで緑が良く成り水害の防止になっていくと感じる。
45	快適環境	・公共交通機関を利用したくても運行していない地域であったり、運行本数が極端に少なく利用できない現状 ・西那須野駅前など、きれいな町並みなのになにかさびしい印象
46	快適環境	質問11のその他の箇所に記入してしまいましたが常日頃私が感じていた事です。どうしても車社会なので歩行者や障害者の方の立場で考えられていないなと思います今回の環境アンケートとは関係のない事かもしれませんが本当の意味での環境を是非お考え頂きたいと思います見た目も中身も美しい街へと希望します
47	快適環境	街中、郊外すべてにおいて看板が多すぎる。行政で必要と認めるところだけにできたら良いと思います。外灯が少なく全体的に暗いです。特に那須塩原駅前には暗すぎて足元も見えません。
48	快適環境	屋内で遊べる施設（子供用）大田原市のトコトコのような施設があると便利（孫ととことこにつれて行ってます）浄化槽をなくし、上下水道にしてください。
49	快適環境 循環型社会	太陽光発電のために山林を切り開く際は、土砂災害に対する安全性を考慮し、また景観も損なわないようにして欲しい。太陽光発電のソーラーパネルが火災や自然災害などで破損した場合の対処が適切に行われるようにして欲しい。太陽光発電所が増加しているが、破損や故障、老朽化などで廃棄する場合の処理が適切に行われるようにして欲しい。市民団体の活動の支援をするならば、団体の活動実績と支援金、補助金などの資金の使い道について積極的に情報開示をして欲しい。
50	快適環境 生活環境	道路わきの雑草、はみ出した樹木、ポイ捨てのごみ、街路樹の落ち葉の散乱や手入れのされていない空き家、空き地の雑草から出る害虫など住民の身近な環境の維持・管理のさらなる強化も期待します。
51	快適環境 生活環境	1.家のまわりの高いコンクリートヘイが、危険→見晴らしよくする 2. 畜産農家への臭いの発散、田んぼや→におい除去対策をする 3. 農家田んぼの春先土ほこり→ほこり対策、水を早めに田にいれる対策 4. 家、道路付近の木々のはみ出し→大きい木きる対策 5. 道路への牛のフンやヒリヨウの落とし、トラクターの土ばらまき→汚したら、きれいに対策処置
52	地球環境	太陽光パネル以外の再生可能エネルギー計画を望みます（温泉が多い事を活かして、地熱発電の積極的導入等）
53	地球環境	①過度な脱炭素は経済力低下に繋がるのでバランスが大切 ②市内には先人が開拓した用水を多く保有する。それら用水を活用した小水力発電を増やし、太陽光発電は減らす方向へ
54	地球環境	EVではなくハイブリッド車を推進すべきだと考える

【市民】

番号	分類	市への要望や計画に対する意見
55	地球環境	再エネやEV関連の補助金が他の自治体より弱いので強化してほしい
56	地球環境	環境問題は先伸ばしにできません。すぐにできることはすぐに始めてもらいたい。取組で忘れてはいけないのは、自分の家の家計のことだと思ってシ支出してもらいたいということ。自分のお金ではないから税金を簡単に投入しているのではないかと疑ってしまいます。猛暑を経験しているので、このまま何もしなかったら大変なことになるという意識を全ての市民が持っていると思います。自分が環境問題に取り組み、市役所全職員が実践し、それから全市民に呼び掛けるというのはどうでしょう。一人ひとりの取り組みが成功の鍵ですが、意識付けの情報発信がもう少し必要な気がします。100年先を見据え、しっかりと考え、どうしても市民の協力を求めれば良いと思います。一市民として協力は惜しみません。
57	地球環境	CO2の件、イチゴハウスの中で、二酸化炭素を機械で作ってイチゴを育てている。そこで逆転の発想で、CO2を●素にかえる機会があります。全国に、又、世界に設置してもらいたい。メタンガスの件、他球の平均気温1.5度以内にする、メタンガスは、肉眼では、見えないので、世界では、大量のメタンガスが出ている（天然ガス工場の付近が、多い）温暖化の原因です。衛星で監視の強化する。
58	地球環境	市も電力生産として太陽光発電所を開発や企業の誘致をすすめ自然に配慮したエネルギーを生産するのがよい。きれいな水は那須塩原市の宝。もっとアピールすべき。温泉地の地熱の利用も。人口増による朝夕の渋滞が激しい。環境保全も大切であるが都市開発とのバランスも考え自然保護と合わせ人口規模に合わせた街の発展も並行してほしい。那須塩原にもLRTを!!
59	地球環境 自然環境	・公共交通機関の充実を図っていただきたい。環境保護の観点から自家用車の使用を控えたいが、代替輸送機関が無い（正確には移動したい時間に電車もバスも走っていない。）・再生可能エネルギーの充実が良いが、里山を切り開いてまで太陽光発電設備を作る必要があるのか疑問です。（環境保全には里山を残す方が大切ではないか。）
60	地球環境 自然環境	市の直轄で環境を整える企業を運営し、ボランティア等を活用して廃品回収や緑化等の活動を推進したら、よい環境が創成できると思います。
61	地球環境 自然環境 快適環境	那須塩原市には美しい自然や素晴らしい景観があるが、人間の手を積極的に入れるべきではない。人工的に手の入った自然の景観は美しくない。自然環境を守るという発想がそもそも人間のエゴではないか。また、再生可能エネルギーの導入は慎重に審議して欲しい。ソーラーパネル設置のために広い土地を使うことこそ本末転倒ではないか。ソーラーパネルの寿命が来たらどのように廃棄するのか。それこそ自然環境に良くないのではないか。環境と一口に言っても自然環境や生活環境など多様な環境がある。アンケートをとるならばまずその定義を明らかにすべき。
62	循環型社会	プラスチックゴミ他分別をもっと細分化してリユースできる様にしてほしい。
63	循環型社会	ゴミ処理場をもう一箇所作る。温泉施設やプール等にする。高齢化がすすみ 不便さが増している。
64	循環型社会	子供(小学生から中学生)のポイ捨て、高齢者による不法投棄などの撲滅運動。特に、“小中学生のポイ捨て!!!”。ちょっと違うかもしれないけど、小学生による器具(遊具などの他、証明等)の破壊行動問題、学校単位できちんと指導して欲しい。
65	循環型社会	ゴミ袋を無償かまたは、家庭の物でも使用可にして欲しい。
66	循環型社会	ゴミステーションを増やしてほしい。また、ペットボトルや缶のごみ収集日を増やしてほしい。
67	循環型社会	日光街道中央分離帯の枯葉、枯草、瓶、缶、プラゴミの散乱にびっくり、徳川の時代だったら不散罪で即刻首ハネと思う。大体栃木県民って田舎者といううか、マナーが悪いカートは使用後放置、元に戻さない。この前●●●に並んでいたカートに荷物満載の初老婦人、一人はカート置いて、売り場へ戻り、一人は料金支払いの段になって携帯なり、カート放置し、物陰移動料金も払わず、バッグの口あけ放しのまま・・・●ったがムカツキ、●●●「待っている、お金払いたい」と言ったら「●●します」とやってくれた。●い列が出来ても、我関せず、混んでいる「●●」でこんな事したら本当にお手打ちものです！大体行政云々より、一人一人の市民の向上をどうすべきか、家庭での躾がなっていないし親世代強いて言えば、更にすの上の世代、戦争を経験し「食うや食わずの生活」を送ったジジ、ババの世代が「マナーが悪い！温泉旅館での脱衣場の使い方の悪さ「中国人もびっくり」だろう（本当に中国人のマナーの悪さは清掃の人がこぼすのをあちこちで聞いた）トイレのペーパーのとりり方悪く、くずが下に溜まって、●もとらない、便座をアルコール吹きつけたペーパーで拭いたら、その紙で紙クズを拾えば、次の人もきれいで使い易いと思う。「次の人の為に」という意識が皆無なんですよね、今の人は、家の前の畑ん歩き乍ら飲んだ缶、ビン（オロナミンC）などをポイ捨てする輩がいる、碌な死に方はすまいと思っている、
68	循環型社会	千葉県で行っている生ゴミ処理方法はとても簡単で私は数年これでゴミの減量を行っていますが、水分の多い生ゴミは出さずにいられ少しだけゴミの減量に協力できているかなと思っています。市でも全体で取り組むならかなりゴミの減量になると思っています。

【市民】

番号	分類	市への要望や計画に対する意見
69	循環型社会	ごみが1つも落ちていない街になると捨てようとする気持ちも減るのではないでしょうか。ごみ拾いのイベントもされると参加された方もスッキリされごみが落ちていることも知り、自然と地球環境に興味を持たれるかもしれません。イベント参加の際には参加粗品があれば嬉しいですね。お疲れ様です。ありがとうございます。
70	循環型社会	家の近くの道路（村町通り）の一角に県外の産廃の土砂が10mくらいに積み上げられていて強風の時には石が道路に落下して不安です。以前の雑木林の景観が損なわれてしまいました。安易に許可しないでほしい。
71	循環型社会	プラスチックのゴミ分別などを徹底するようにしてもらいたいです。
72	循環型社会	スーパーなどで毎日大量にうまれている食品ロスをこども食堂などに利用できるようなしくみをつくってほしいです。無造作に行われる伐採で、土の健康がどれだけそこなわれるかを住民に理解してもらおうと取り組みをしてほしいです。
73	循環型社会	リサイクルマークが付いていても、それらを回収してくれる場所がない。
74	循環型社会 自然環境	・圃場にタバコ、ゴミを捨てる人が多い。家の周りが燃えそうになったことがある。・急カーブをドリフトして水田に落ちる車やバイクが多い。・マフラーをいじったうるさい車やバイクで夜が騒がしい。上記の事が多々あり、市内はあまり良くないと噂が出てくることもある。こういった事の対策を講じてほしい。
75	循環型社会 生活環境	黒磯地域高速道路より北の山林にいたる所に産廃のほうきが見られた、地下水や土壌汚染が心配です。定期的な測置をお願いしたい。
76	その他	別になし
77	その他	特になし
78	その他	情報公開し市役所職員が胡座をかかないで市民と分かち合い協力しあって環境を良くしてほしい。未来に向けて子供達の協力不可欠
79	その他	環境が良いことを子どもたちが素敵だなどと思ってもらえている将来が実現することを期待しています。
80	その他	塩原地区の様々な施設の閉鎖を止めてほしい。市庁舎に多大な費用をかける必要があるのか？市庁舎の基本プランは高齢者に不便なものなのに建築費がかかる。（駐車スペースが遠い。利用が感じられない庁舎前広場。木材を多用する事によるランニングコストの増大などは他の施設の問題になっている。同じ隈研吾事務所のデザインの馬頭広重美術館などは費用が賄えず、メンテナンスができていない。）豊富な泉質を持ち文化財も自然環境も多い塩原温泉地区が衰退することは残念でなりません。市中心部の開発より地方の整備に力を入れて下さい。
81	その他	道路工事等の時期の平準化を望む
82	その他	持続可能なまちづくりの取り組みを具体的に示された方が、市民の環境に関する意識がた高まるのではないかと思います。
83	その他	環境を守るだけでなくそこに住む障害者やお年寄りが心地よく生きていけるまちにしていきたいと思います。環境だけがあっても意味がないと思います。
84	その他	格好ばかりいい言葉を使うのではなく、身のある取り組みをして欲しいです。また、特定の一部の企業の利益になるようなことにならないように考えるべきです。
85	その他	ネットに踊る言葉は一瞬だが、環境や社会の形成は積み重ねです。ネットやスマホを眺めて受け身に流され過ぎでは無いですか？新聞や報道でものを考え、データや統計の正しい意味が分かる環境教育が、大人にも子供にも必要不可欠だと思います。
86	その他	比較的恵まれている税金に甘んじて、流行りに流されて、環境、環境と再生エネルギー等に一方付かないこと。一人でも多くの住民が増えるよう、少子化、子育て支援等で、他市町村に劣っている面に目を向け対応していくことを期待します。
87	その他	新しい道路を作る時、「これって本当に必要なの？誰が望んでいるの？」とか「予算を使い切るために作ってんじゃないの？」といった疑問が時折感じます。そのあたり説明をもっときちんとして欲しい。*道路だけでなく建物なども同様です
88	その他	まず市長さんいか那須塩原のほうとに環境に考えているのか町の事をかんがえてこの様なアンケート調査を取組むのかな。よく考えて・・・
89	その他	質問2について、市がどのような取り組みをしているか知らないのと、回答が出来ない（私の勉強不足かもしれませんが）
90	その他	森林を伐採して太陽光発電装置を設置するのは、どうなのでしょう。水田が多い地区ですが、道路脇に排水溝がありません。雨が降ると、道路が川のようになり、水田に流れ落ちます。土手の土が流され、道路より低くなっています。
91	その他	街の商業施設の質をあげてもらいたいです。ゲームセンター、パチンコ、等が多すぎます。映画館はあるのに買い物を楽しんだり食事を楽しむところが少ない。ソーラーも増えてきているのも不安です。
92	その他	他の市の活動（成功、失敗例ete）を参考に良い所を取り入れて活動して下さい。子供、市民をまき込んで少しづつでも広がる様に活動して頂けると良いと思います。

【市民】

番号	分類	市への要望や計画に対する意見
93	その他	市民1人1人の意識を変えるのは難しいし、個々で生活リズムがあり、事業参加は、負担になってしまう。家族単位で出来る事、学校を通して出来る事を推進してほしい、以前通っていた小学校ではキャップが行事のゲームポイントに加算されており子どもが年間を通して熱心に集めておりとても良いと思っていたが、それもなくなってしまい残念の思っている。子どもを含めて上手に取り組めるようにしてほしい
94	その他	見透視の悪い道路の改善や急カーブの改善が安全性につながると思うので必要と思われる。道路を走行中危険な所が多々見られる。
95	その他	これから雪道になるので、塩化剤をまくと車が痛むので雪の多いところだけでも中央線に一晩中水を通すちかの対策をして欲しい。通勤・通学が大変なところはたくさんあるはず。ハンタマに来る県外客のためにも、地元民のためにも必要だと思います。
96	その他	メディアや都会ばかりでなく、市民に目を向けてほしいです。カタカナ課になった時に、市民を見ていないという事を強く感じました。現場の職員の方も苦労されているのではないのでしょうか。
97	その他	市役所の人たちは、自分がかかわってる物（仕事）だけで他の事は我かんせず！！もっと役所の中から変化をのぞむ！！
98	その他	那須塩原市の中で西三島地区は病院（内科）スーパーがない高齢者がふえるたび環境に力をください
99	その他	まず開発（都市化）を進め、人をたくさん呼ぶことが大切かと思えます。環境対策は税収が上がってから一気に取り組む形とするのが良いのかと思えます。
100	その他	横文字が多すぎる
101	その他	返信封筒のサイズが小さくて入れずらかった
102	その他	特になし
103	その他	特になし
104	その他	歩いてる人や自転車の人に優しくない。道路もしかり、車の運転者も！歩道の整備に予算を使って下さい。
105	その他	環境基本計画を一つずつ実施して下さい。
106	その他	特にありません
107	その他	このようなアンケートを外注にして無駄な税金を使わないでほしいです。紙と時間、郵便代を他の事に使って下さい。市民の日々の暮らしが良くなければ環境に対する取り組みも参加も考えが及びません。机上の空論とはこの事です。パフォーマンスだけの政治です。
108	その他	せつかくの機会だから一言いっておきたい。最近、市内のあちこちにアルミのフェンスで囲って外から見られない場所が見受けられる。私の通っている関谷の高阿津にも見受けられる。もう十数年も前からなるが周りをアルミのフェンスで囲い大きなダンプ車が何かを運んで（多分、産業廃棄物だと思うがシートで覆っているからわからない）そのフェンス内に入り捨てて立ち去っていく。問題はそれが十数年以上も放置されたままだということだ。行政で許可したというならば、なぜその後の指導、監督をしないのか。今だアルミフェンスで囲ったまま昔のきれいな状態になってない。近くに人家もある。このままの状態だと環境破壊、土壌汚染（真下に大きな川が流れている）公害問題に発展する。おそらく何年後かには大問題となり、行政の怠慢さが指摘され責任が追及されることになるであろう。フェンスを囲って周囲から見えなくし、何かをやるということは何か人に見られてはまずいからだと思う。でなければフェンスを囲む必要はない。だとすれば作業が完了すればフェンスをはずし元のきれいな状態、緑豊かな環境にもどすのがあたりまえではないか。なぜ行政は見ても見ぬ振りをしてほっておくのか、指導に従わなかったならば厳しい罰則を設けてでも元の状態にまで戻させるまでが仕事のうちではないか。今だにフェンスはそのまま、荒れ放題、野放し、行政はいったい何をやっているのか。環境問題うんぬんいう前に今、現実に起きている破壊状態をなんとかしてでも食い止めていく努力を真剣に取り組んでもらいたい。将来の安全で美しい自然を取り戻すために！（昔のきれいな元の状態に戻すまでフェンスを全部取りはずし）

【市民】

番号	分類	市への要望や計画に対する意見
109	その他	もっと自転車を活用していきたいと思っているのですが、歩道の広い所は歩いている人も少ないので歩道を利用すれば怖くないのですが、歩道が無い所は車道の端も植物が出ていたりして走行に不向きなと、メイン通りは割とアスファルトもキレイに整備して下さってますが（市役所近くの（新とりせんからの）ポコポコだった道路も大分キレイになりありがとうございます）裏の通り（とら分店と居酒屋れんの間の通りや”きらむき”と那須高原ハムをつなぐ裏道やトライアル付近）は穴があいてたり、ポコポコしているので通学してる中学生や高校生は大丈夫なのか少し心配してます。街灯かミラーを可能なら「ねむの樹洋菓子店本店」の横の通りを「居酒屋れん」の通りにぶつかるT字路の所に設置して頂けると助かります。歩いていたら二度ほど車が飛び出してきて（ねむの樹の方からきた車に）接触寸前になった事があり怖い思いをしました。通学路にもなっている通りなので、前向きにご検討して頂けると助かります。
110	その他	特になし
111	その他	環境問題は難しい課題で持続性が問われますが、市民に幅広く浸透させるような計画を希望します。
112	その他	将来の子供たちの為に環境は大変重要であると思います。
113	その他	那須塩原市役所も新設するにあたり、これからも地域をより良く活性化させてほしい。
114	その他	道路の工事が行われており、通学路が夏は草だらけだし歩道は狭くポコポコだし自転車で何度も転倒したりして危険です。新しい道路が出来るのは楽しみです。
115	その他	免許を返納の後の歩の道をタクシー件などにしているようですが、期間があるとか聞きました。これから先は足をどうするのかな。民間にバス 那須塩原間を無料にならないのでしょうか。家族にたよるのはなかなか。バスを無料になることを願います。（原文のまま）
116	その他	これから高齢化の進む時代がくることも考え、自家用車の使用を考えてリマンド交通を充実してほしい。
117	その他	税金のむだづかいをしない。 箱物事業をしない。
118	その他	回答期限を過ぎてしまいましたが市民の声として、どうか役立ててほしいと思います。かっこいい言葉ばかりが一人歩きせず、市民が真に理解できるような分かりやすい取り組みや計画になりますように。そして、本当の意味での環境保全をすべての人が知り、一人一人が真剣に取り組めるようになりますように。地球に住まわせてもらっていることがありがたいことと気付きますように。
119	その他	環境については範囲が広く多岐に渡るまた何が正解なのか今の時点で不明な事柄も多いので、例えば発電者で作る電力を使用するEVはエコなのかといった単眼性の方向性ではなく広い視野、方向性をもってもらったらと思う このアンケート用紙がはいらない返信封筒を送ってくるのはいかがか、折直した
120	その他	このようなアンケートを外注にして無駄な税金を使わないでほしいです。紙と時間、郵便代を他の事に使って下さい。市民の日々の暮らしが良くならなければ環境に対する取り組みも参加も考えが及びません。机上の空論とはこの事です。パフォーマンスだけの政治です。アンケート自体が非常に抽象的で回答しにくいように思います。もう少し具体的な内容であれば答えやすいと思います。
121	その他	子どもが産まれてから、図書館や公園等に出向く機会が増え、環境に興味をもつきっかけが増えました。年層は限られるかもしれませんが、子連れで参加できるイベントがあったらうれしいと思います。次世代にキレイな市を残せるよう、可能な範囲で自分も協力させていただけたらと思います。いつも市民のためにさまざまな企画をありがとうございます。
122	その他	環境問題は子供の頃からしっかり教育する事が大切だと思います。ですから、基本計画の中には、このような内容も含まれれば良いと思うし、将来的にも感心度が高まるのではないのでしょうか。（自分達の故郷は自分達で守る）

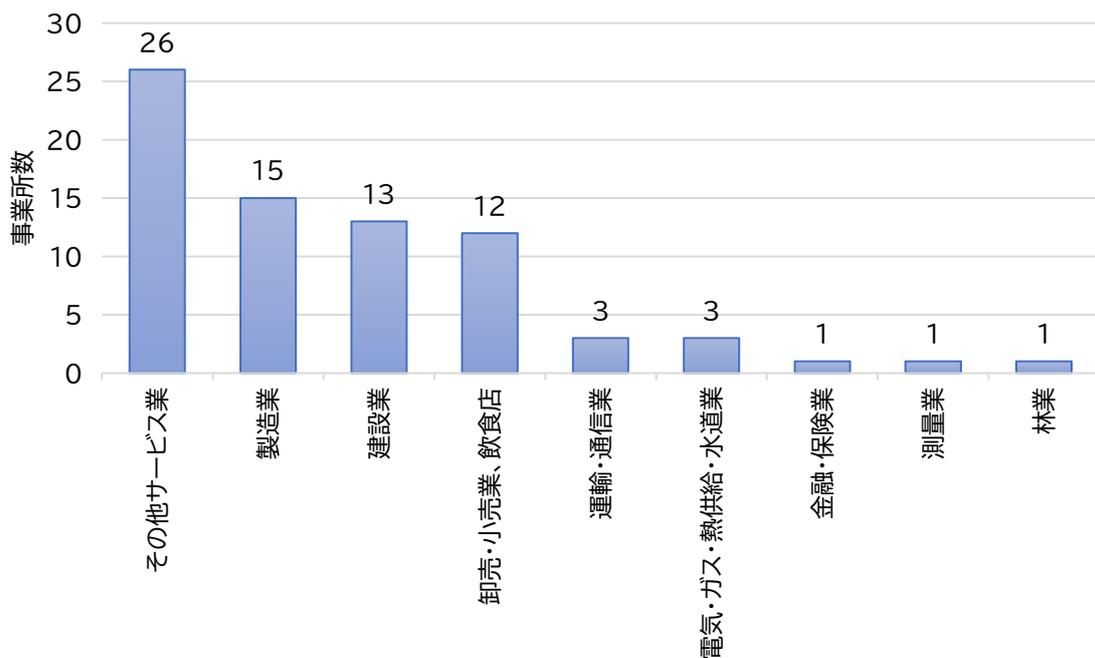
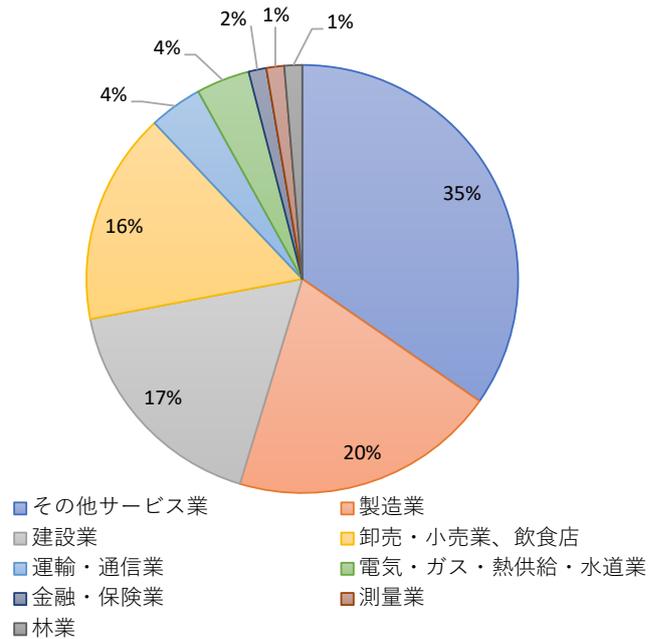
■事業者アンケート結果

調査対象及び調査数	市内に事業所をおく事業者 200 社を無作為に抽出
調査方法	アンケート調査用紙の郵送
調査期間	令和 6 年 12 月 19 日～令和 7 年 1 月 8 日
回答数及び回収率	76 事業所（うちインターネットによる回答 23 事業所） 回収率 38.0%

質問 1

(1) 業種

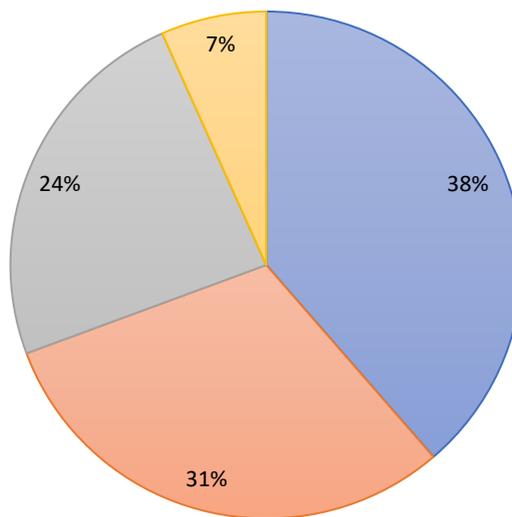
項目	回答数
その他サービス業	26
製造業	15
建設業	13
卸売・小売業、飲食店	12
運輸・通信業	3
電気・ガス・熱供給・水道業	3
金融・保険業	1
測量業	1
林業	1



・その他サービス業が一番高く、次いで製造業、建設業の順となっている。  
 ・9年前の結果と比べ、卸売・小売業、飲食店の割合の低下が著しい。

(2) 形態

項目	回答数
事務所	29
工場	23
店舗	18
その他	5

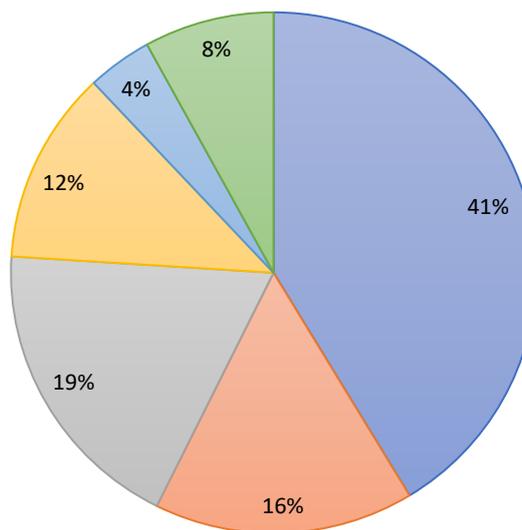


■事務所 ■工場 ■店舗 ■その他

・事務所が一番高く、次いで工場、店舗の順となっている。

(3) 従業員数

項目	回答数
5人未満	31
5～9人	12
10～19人	14
20～49人	9
50～99人	3
100人以上	6



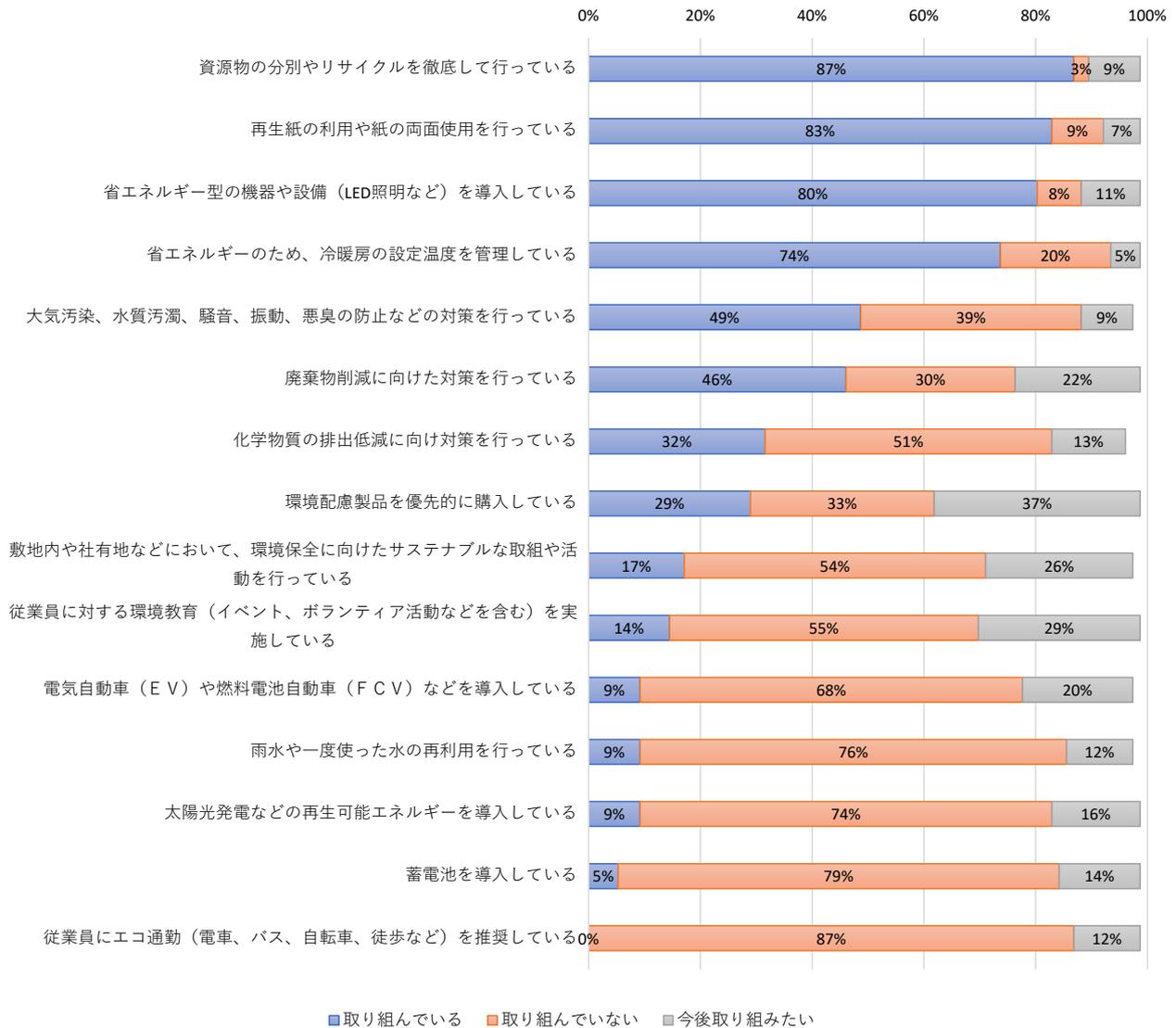
■5人未満 ■5～9人  
 ■10～19人 ■20～49人  
 ■50～99人 ■100人以上

・5人未満の事業所が最も多く、次いで10～19人であった。  
 ・9年前の結果と比べ、5～9人の割合が僅かに低くなっている。

質問2

日常業務の中で環境に配慮した取組を行っていますか。

項目	回答数		
	取り組んでいる	取り組んでいない	今後取り組みたい
資源物の分別やリサイクルを徹底して行っている	66	2	7
再生紙の利用や紙の両面使用を行っている	63	7	5
省エネルギー型の機器や設備（LED 照明など）を導入している	61	6	8
省エネルギーのため、冷暖房の設定温度を管理している	56	15	4
大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭の防止などの対策を行っている	37	30	7
廃棄物削減に向けた対策を行っている	35	23	17
化学物質の排出低減に向け対策を行っている	24	39	10
環境配慮製品を優先的に購入している	22	25	28
敷地内や社有地などにおいて、環境保全に向けたサステナブルな取組や活動を行っている	13	41	20
従業員に対する環境教育（イベント、ボランティア活動などを含む）を実施している	11	42	22
電気自動車（EV）や燃料電池自動車（FCV）などを導入している	7	52	15
雨水や一度使った水の再利用を行っている	7	58	9
太陽光発電などの再生可能エネルギーを導入している	7	56	12
蓄電池を導入している	4	60	11
従業員にエコ通勤（電車、バス、自転車、徒歩など）を推奨している	0	66	9

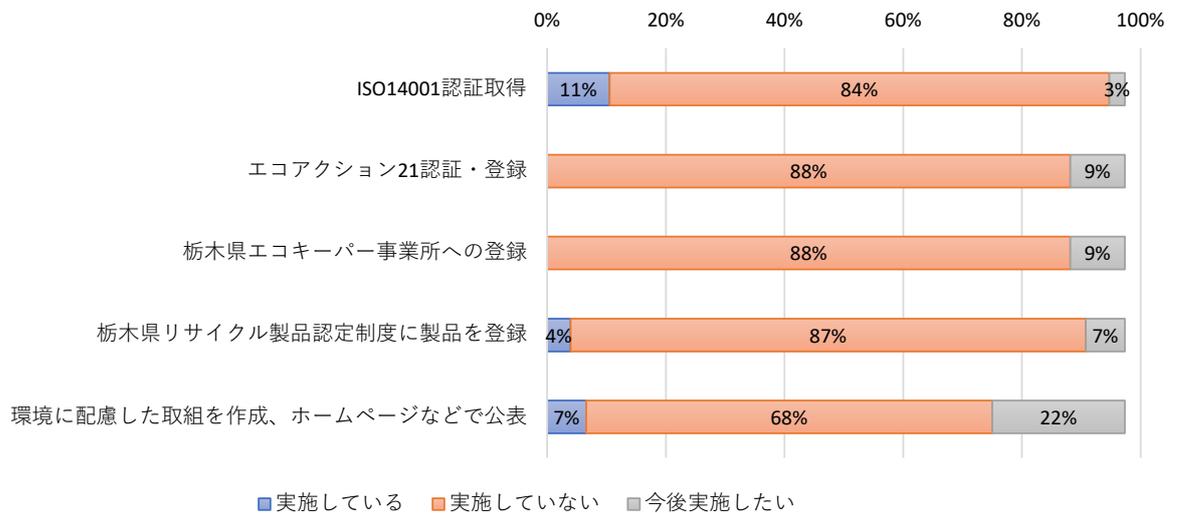


・「資源物の分別やリサイクルを徹底して行っている」の割合が高く、次いで「再生紙の利用や紙の両面使用を行っている」、「省エネルギー型の機器や設備（LED照明など）を導入している」となっている。  
 ・9年前も同様に「廃棄物の適正な処理、リサイクルの推進」が高かった。

### 質問3

環境への貢献のための認証取得や登録状況はいかがですか。

項目	回答数		
	実施している	実施していない	今後実施したい
ISO14001 認証取得	8	64	2
エコアクション 21 認証・登録	0	67	7
栃木県エコキーパー事業所への登録	0	67	7
栃木県リサイクル製品認定制度に製品を登録	3	66	5
環境に配慮した取組を作成、ホームページなどで公表	5	52	17

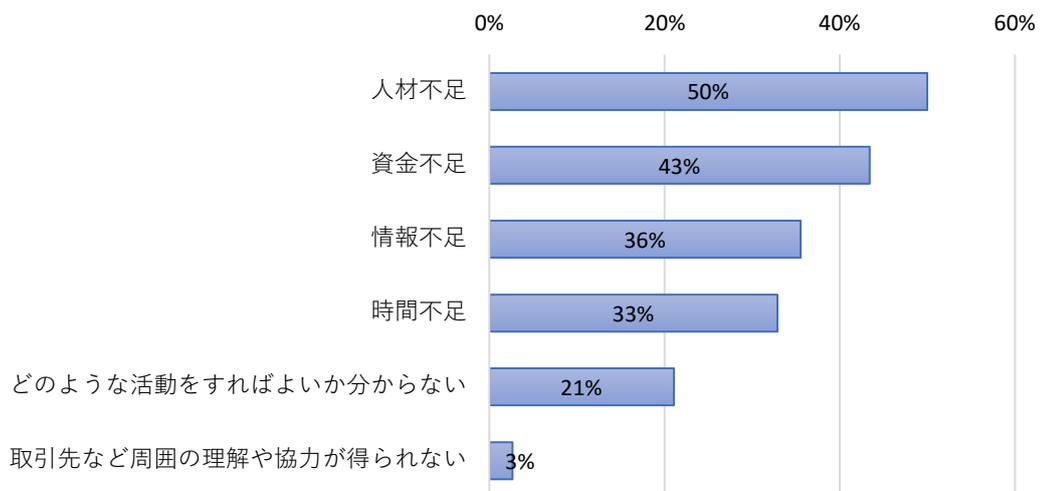


・「ISO14001 認証取得」を実施している事業者の割合が僅かに高くなっている。  
 ・「環境に配慮した取組を作成、ホームページなどで公表」を今後実施したいと考える事業者の割合が僅かに高くなっている。

#### 質問4

環境に配慮した取組を行うにあたり阻害要因となっていることは何ですか。(2つ選択)

項目	回答数
人材不足	38
資金不足	33
情報不足	27
時間不足	25
どのような活動をすればよいか分からない	16
取引先など周囲の理解や協力が得られない	2

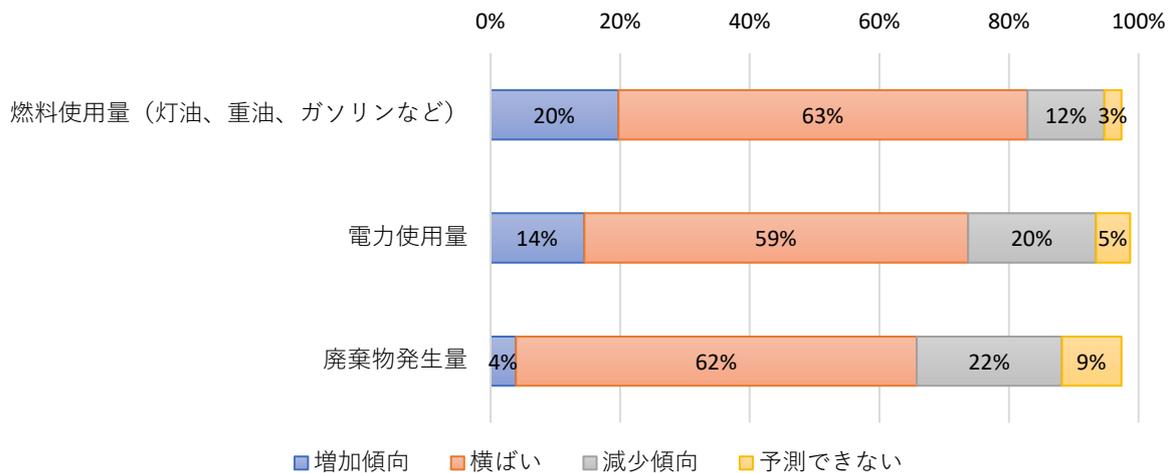


・「人手不足」が一番高く、次いで「資金不足」、「情報不足」の順となっている。  
 ・9年前は「費用がかかる（資金不足）」が一番高く、次いで「人手不足」であった。

質問5

今後の電力・燃料使用量及び廃棄物発生量の傾向についてご回答ください。

項目	回答数			
	増加傾向	横ばい	減少傾向	予測できない
燃料使用量（灯油、重油、ガソリンなど）	15	48	9	2
電力使用量	11	45	15	4
廃棄物発生量	3	47	17	7

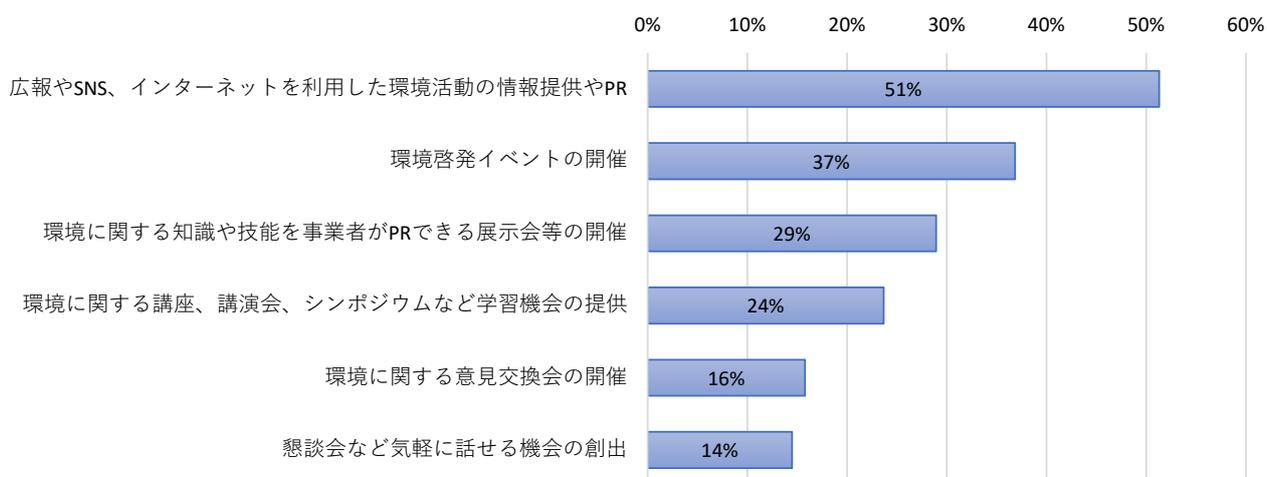


- ・「燃料使用量（灯油、重油、ガソリンなど）」は今後増加していくと考える事業者の割合が比較的高くなっている。
- ・「廃棄物発生量」は今後減少していくと考える事業者の割合が比較的高くなっている。

## 質問6

那須塩原市や他の事業者と連携して環境に貢献するための活動を行う場合、どのようなことが重要だと考えますか。（該当するものすべて選択）

項目	回答数
広報や SNS、インターネットを利用した環境活動の情報提供や PR	39
環境啓発イベントの開催	28
環境に関する知識や技能を事業者が PR できる展示会等の開催	22
環境に関する講座、講演会、シンポジウムなど学習機会の提供	18
環境に関する意見交換会の開催	12
懇談会など気軽に話せる機会の創出	11



・「広報や SNS、インターネットを利用した環境活動の情報提供や PR」が最も高く、次いで「環境啓発イベントの開催」、「環境に関する知識や技能を事業者が PR できる展示会等の開催」の順となっている。

【事業者】

番号	分類	市への要望や計画に対する意見
1	生活環境	本州ナンバーワン畜産県であるというのなら、例えば畜産の糞尿処理に対する啓発、技術の導入、補助金の拠出等、「大気汚染、水質汚染、悪臭」の改善につながるのでは?!
2	地球環境	断熱性能の高い住宅(ZEH等)の推奨。このような住宅建築に対してもっと優遇措置を配備してほしい。
3	地球環境	CO2の削減の為の補助金を導入。市内の小中学校生徒に啓蒙教育を。
4	その他	アンケート結果を活用する計画を知りたいです。この結果で環境への取り組み方の改善に繋がる何かが見つけられるアンケートなのではないでしょうか?紙でのアンケートの配布は、止めた方が良くと思います。
5	その他	事業者に対する環境対策の補助内容(金銭を含む)をもっと周知してほしい。
6	その他	市と事業者間のやり取りがとても簡単な方法で、わかりやすく手間のかからない物が良い
7	その他	特にありません
8	その他	市が3つの柱として打ち出した「ネチャーポジティブ」、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーの言葉の意味がよくわからない、環境に関したものだだろうが、行政レベルではなく庶民にわかりやすい説明文をつけて欲しい。75歳のような後期高齢者、アナログ人間が市には相当数いることを忘れないでほしい。日本人にはまず日本語でしょう。外国語優先にしてほしくない。ネチャーポジティブ部課、市民にはこの名前ではわかりにくいです。
9	その他	特になし

■中高生アンケート結果

1 中学生

調査対象	市内中学校の2年生（義務教育学校8年生）全員
調査方法	Google フォームによる回答
調査期間	令和6年12月12日～令和6年12月25日
回答数	608名

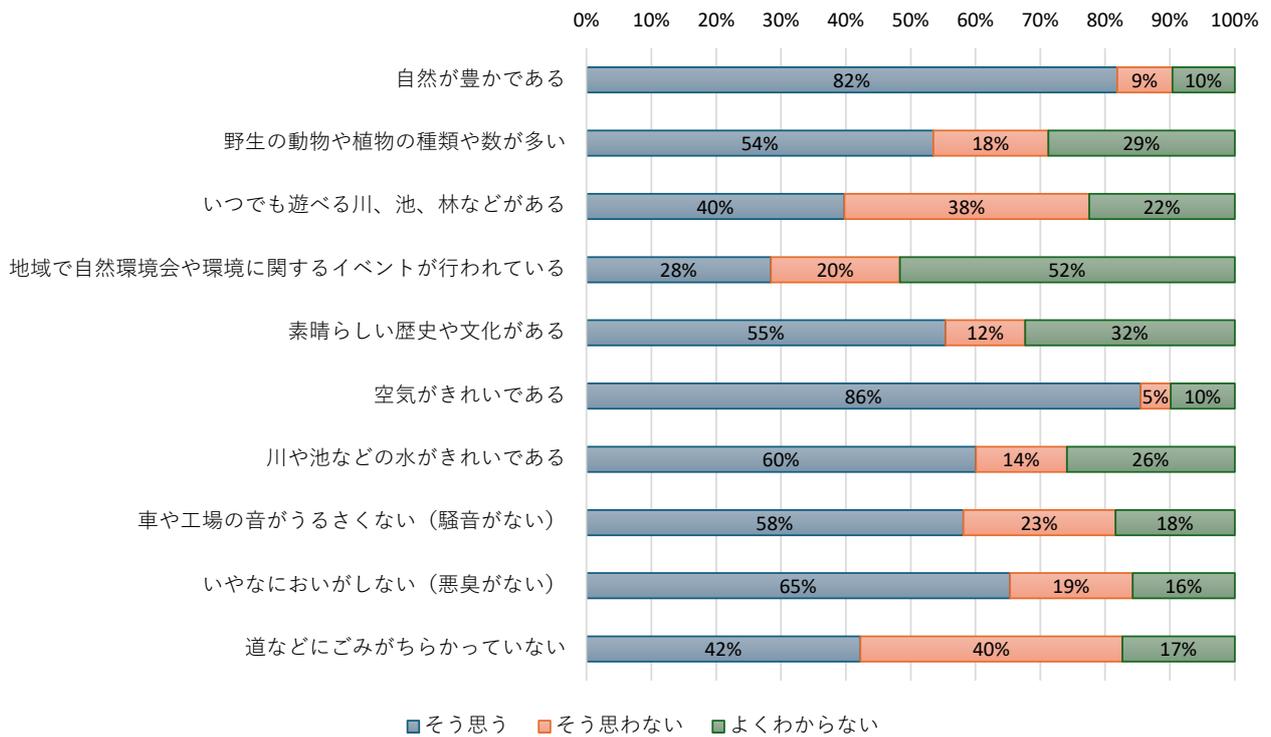
2 高校生

調査対象	市内高等学校のうち1クラス（学年不問）
調査方法	アンケート用紙への記入（対面）
調査期間	令和6年12月5日～令和6年12月25日
回答数	144名

質問1

家や学校のまわりの環境について、どのように感じていますか。

回答	そう思う		そう思わない		よくわからない	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
A. 自然が豊かである	614	82%	64	9%	72	10%
B. 野生の動物や植物の種類や数が多い	402	54%	133	18%	216	29%
C. いつでも遊べる川、池、林などがある	298	40%	283	38%	168	22%
D. 地域で自然環境会や環境に関するイベントが行われている	213	28%	149	20%	387	52%
E. 素晴らしい歴史や文化がある	415	55%	92	12%	242	32%
F. 空気がきれいである	642	86%	35	5%	74	10%
G. 川や池などの水がきれいである	450	60%	105	14%	194	26%
H. 車や工場の音がうるさくない（騒音がない）	436	58%	176	23%	138	18%
I. いやなおいがない（悪臭がない）	490	65%	142	19%	118	16%
J. 道などにごみがちらかっていない	317	42%	303	40%	130	17%

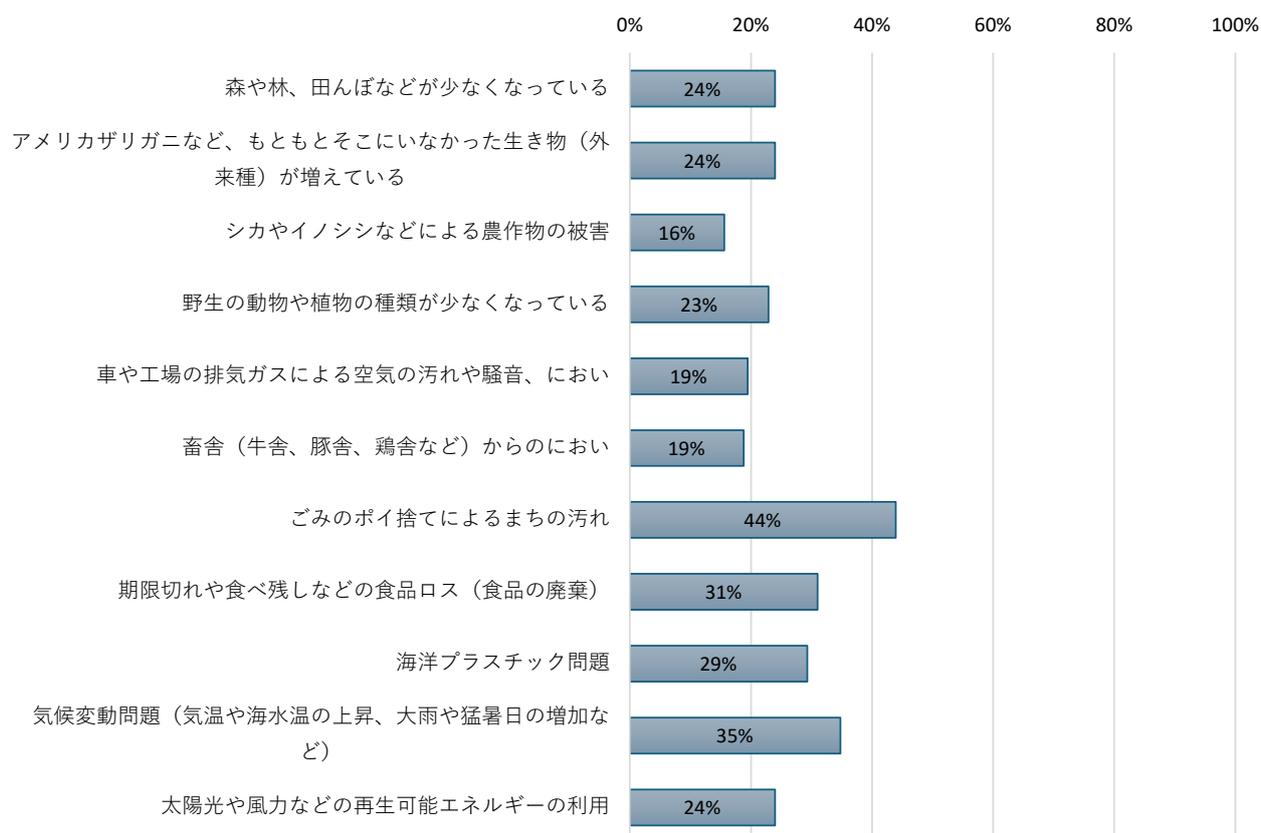


・「空気がきれいである」と回答した生徒の割合が最も高く、次いで「自然が豊かである」となっている。

## 質問2

あなたはどのような環境問題に関心がありますか。(3つ選択)

回答	回答数	構成比
1. 森や林、田んぼなどが少なくなっている	180	24%
2. アメリカザリガニなど、もともとそこになかった生き物(外来種)が増えている	180	24%
3. シカやイノシシなどによる農作物の被害	117	16%
4. 野生の動物や植物の種類が少なくなっている	172	23%
5. 車や工場の排気ガスによる空気の汚れや騒音、におい	146	19%
6. 畜舎(牛舎、豚舎、鶏舎など)からのにおい	141	19%
7. ごみのポイ捨てによるまちの汚れ	330	44%
8. 期限切れや食べ残しなどの食品ロス(食品の廃棄)	233	31%
9. 海洋プラスチック問題	220	29%
10. 気候変動問題(気温や海水温の上昇、大雨や猛暑日の増加など)	261	35%
11. 太陽光や風力などの再生可能エネルギーの利用	180	24%

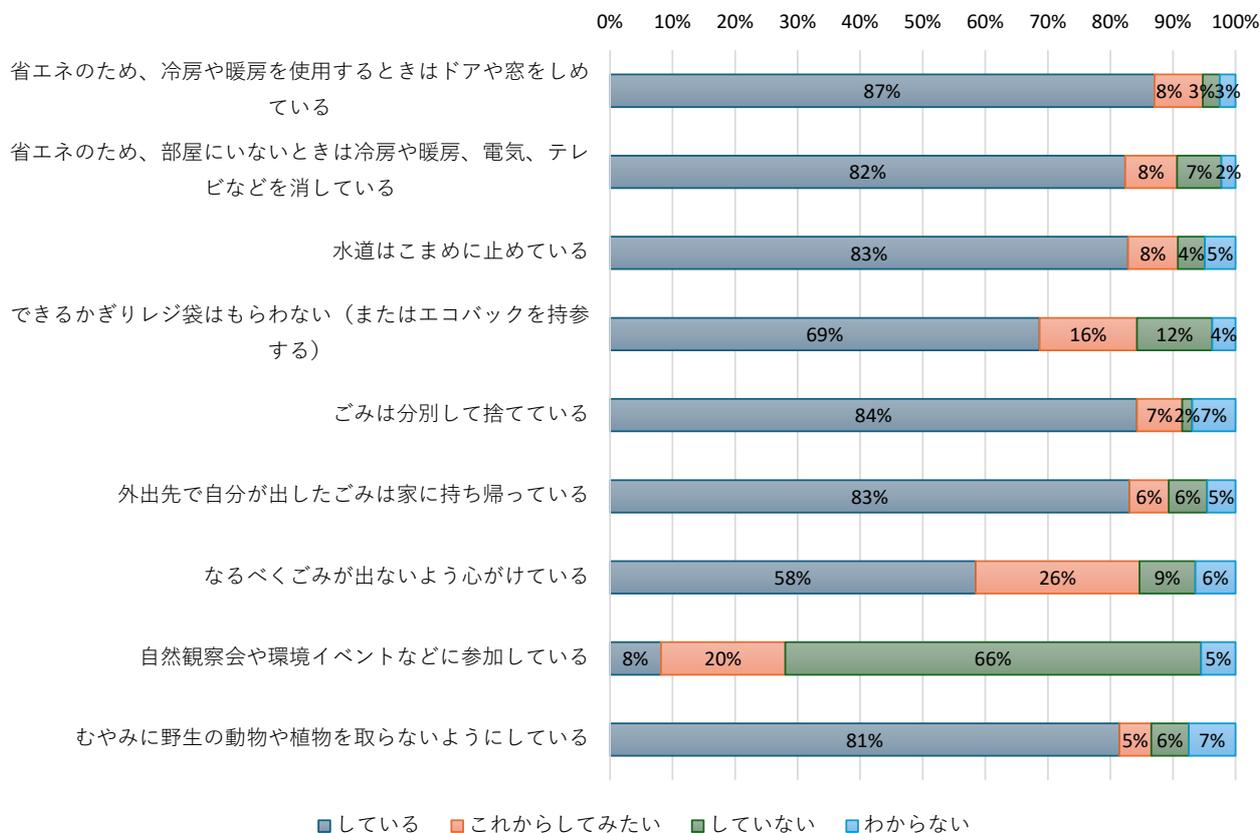


・「ごみのポイ捨てによるまちの汚れ」と回答した生徒の割合が最も高く、次いで「気候変動問題(気温や海水温の上昇、大雨や猛暑日の増加など)」となっている。

### 質問3

あなたは、環境を守り、良くしていくために、毎日の生活の中で行っていることはどのようなことですか。

回答	している		これからしてみたい		していない		わからない	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
A. 省エネのため、冷房や暖房を使用するときはドアや窓をしめている	652	86.8%	58	7.7%	20	2.7%	19	2.5%
B. 省エネのため、部屋にいないときは冷房や暖房、電気、テレビなどを消している	617	82.2%	62	8.3%	53	7.1%	17	2.3%
C. 水道はこまめに止めている	622	82.8%	60	8.0%	32	4.3%	37	4.9%
D. できるかぎりレジ袋はもらわない（またはエコバックを持参する）	515	68.6%	117	15.6%	90	12.0%	28	3.7%
E. ごみは分別して捨てている	632	84.2%	54	7.2%	12	1.6%	52	6.9%
F. 外出先で自分が出したごみは家に持ち帰っている	622	82.8%	47	6.3%	46	6.1%	34	4.5%
G. なるべくごみが出ないように心がけている	438	58.3%	196	26.1%	67	8.9%	48	6.4%
H. 自然観察会や環境イベントなどに参加している	61	8.1%	148	19.7%	496	66.0%	41	5.5%
I. むやみに野生の動物や植物を取らないようにしている	610	81.2%	38	5.1%	45	6.0%	56	7.5%



・「省エネのため、冷房や暖房を使用するときはドアや窓をしめている」生徒の割合が最も高くなっている。次いで「ごみは分別して捨てている」生徒の割合である。

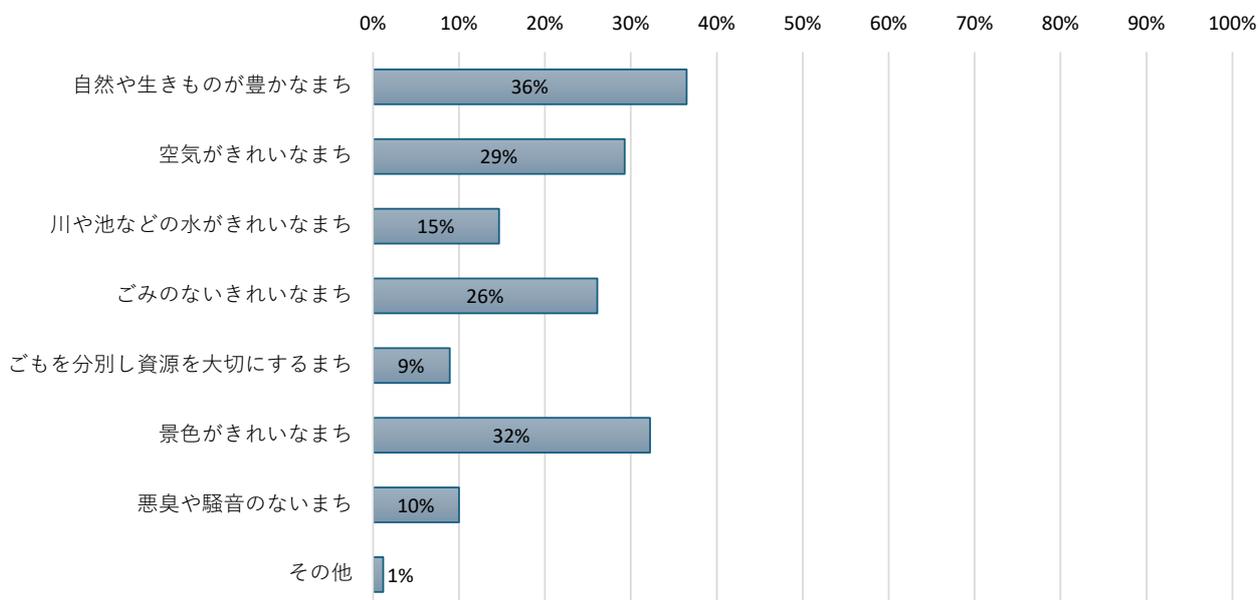
#### 質問4

あなたは、那須塩原市が将来のどのようなまちになることを望んでいますか。(2つ選択)

回答	回答数	構成比
1. 自然や生きものが豊かなまち	274	36.5%
2. 空気がきれいなまち	220	29.3%
3. 川や池などの水がきれいなまち	110	14.6%
4. ごみのないきれいなまち	196	26.1%
5. ごみを分別し資源を大切にすまち	67	8.9%
6. 景色がきれいなまち	242	32.2%
7. 悪臭や騒音のないまち	75	10.0%
8. その他	9	1.2%

#### その他 記載内容

- 市の良さを生かしつつ環境に配慮したまち。
- 道路がきれいなまち(でこぼこしていない)
- もっと場所と場所との交通手段を増やしてほしい。
- 伝統を重視しつつも先進的なまち
- SDGs を先進的に取り組むまち
- 宇都宮のように遊ぶところがたくさんあるまち
- 女性への配慮がある街(学校・施設などでのナプキンの設置)
- 都会
- スポーツ施設に喫煙所がないまち
- 公園がもっとほしい
- 若者が楽しいと思える街(駅前にゲーセン、アニメイト、本屋があったり)
- 学生などが参加できるイベントや遊び場が多く住んでいて楽しいまち



・「自然や生きものが豊かなまち」を望んでいる生徒の割合が最も高く、次いで「景色がきれいなまち」である。

## 第2期那須塩原市環境基本計画改定スケジュール(修正版)

R7.1月

### 令和6年度

日程 内容	4月 10 20	5月 10 20	6月 10 20	7月 10 20	8月 10 20	9月 10 20	10月 10 20	11月 10 20	12月 10 20	1月 10 20	2月 10 20	3月 10 20
議会				全協								
庁議、調整会議			調整 会議	庁議								
環境審議会					第1 回						第2 回	
市民懇談会					第1 回					第2 回		
庁内策定委員会					第1 回					第2 回		
計画改定業務委託 (市民アンケート)					契約事務		業務委託期間					
							市民アンケート(仮)					

### 令和7年度

日程 内容	4月 10 20	5月 10 20	6月 10 20	7月 10 20	8月 10 20	9月 10 20	10月 10 20	11月 10 20	12月 10 20	1月 10 20	2月 10 20	3月 10 20
議会						議会説明 (※)				3月議会 議案提出	全協	上程 議決
庁議、調整会議									調整 会議	庁議		
環境審議会				第3 回				第4 回 諮問	第5 回 答申			
市民懇談会				第3 回				第4 回				
庁内策定委員会				第3 回			第4 回					
計画改定業務委託	業務委託期間											
パブリックコメント						パブコメ						

※正副議長・正副常任委員長・常任委員会説明

第2期那須塩原市環境基本計画改定業務委託 工程表

					令和7年												令和8年		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 基礎調査																			
市各種データ収集・整理																			
国・県等のデータ収集・整理																			
環境調査等のデータ収集・整理																			
2 アンケート調査																			
アンケート作成																			
アンケート対象者抽出																			
アンケート印刷・封入・発送																			
アンケート回収																			
アンケート集計・解析																			
報告書の作成																			
3 現行計画の評価																			
現行計画の進捗データ収集・整理																			
4 環境課題の抽出																			
5 計画骨子案の検討・作成																			
6 計画素案の検討・作成																			
7 環境基本計画・概要版の作成																			
8 データ納品																			
9 環境審議会																			
10 市民懇談会																			
11 庁内策定委員会																			
12 パブリックコメント																			

参加募集中！

# 那須塩原市 ゼロカーボン・コンソーシアム

～環境価値を新たな企業価値に～

那須塩原市内に拠点を有する法人であれば  
ご参加可能です！（登録・参加無料）

## メリット

1

### 情報発信

脱炭素関連情報や取組み事例を紹介

これから脱炭素経営を始める企業にも役立つ情報を発信

2

### 解決策の提示

脱炭素に関する専門家を招いた勉強会を実施

各テーマの専門家による講座、課題感を相談できる場を提供

3

### 協力者探し

脱炭素経営に取り組む企業・支援する団体が一体となった体制

解決策を持った企業や、一緒に解決策を作る仲間探しも可能

## 設立目的

世界情勢として脱炭素の取組が必須となっていく中、那須塩原市としても市内の企業・団体が情報交換や事例提供などの連携を通じて脱炭素に取り組むことで、脱炭素を活かした企業成長と脱炭素社会の実現の両立を目指すための仕組みとして、コンソーシアムを設立しました。

## コンソーシアムの構成

コンソーシアムに参加いただいた企業の脱炭素経営を促進するため、市内の金融機関、大学や脱炭素ソリューションを有する企業も参加。担当者のみでは対応が難しい脱炭素経営の困りごとについて相談することができます。那須塩原市内の脱炭素を起点にした成長を目指します。

### 支援団体

脱炭素ソリューションを有する  
企業・産官学金

### 取組団体

脱炭素を進めたい市内企業

### 運営委員会

コンソーシアム運営を担う  
金融機関, 企業, 大学

## お問い合わせ先

事務局

那須塩原市 環境戦略部カーボンニュートラル課

TEL : 0287-73-5651

## お問い合わせフォーム



4P

<https://forms.gle/HUKSgBoiifz5duV78>

## 入会のお申込みはこちら



<https://forms.gle/L1RHJ3fLFNtYShPw9>